

令和2年度

事業報告及び附属明細書



社会福祉法人 米原市社会福祉協議会

目次

令和2年度事業の総括	1
I. 顔の見えるつながりを深める・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2～5
1. 福祉のこころを育みます	
(1) 広報・情報発信	2
(2) 福祉学習・啓発	2
2. 地域や人のつながりを深めます	
(1) 子育て支援	5
II. 暮らしを守る活動を広げる・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6～33
1. 子どもから高齢者まで一人一人に寄り添います	
(1) 相談支援	6
(2) 権利擁護	7
(3) 介護保険事業	9
(4) 介護予防事業	15
(5) 障がい福祉サービス	16
(6) 放課後児童クラブ	20
(7) 生活困窮者自立支援事業等	21
(8) 生活福祉資金貸付制度・一時援護資金貸付事業	24
(9) その他の生活支援	24
2. 身近な地域で支え合います	
(1) ご近助活動（自治会単位）の推進	27
(2) 福祉活動団体支援	28
(3) 当事者団体活動支援	29
(4) 地域福祉活動拠点の活用	29
(5) 善意銀行	30
(6) 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金	30
(7) ファミリー・サポート・センター	32
(8) 災害支援体制の構築	33
(9) 災害ボランティアセンターの設置運営	33
III. 助け合い、支え合う人を育む・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34～37
1. 地域の担い手を育みます	
(1) ボランティアセンター	34
2. 福祉人財を育みます	
(1) 福祉介護人材の育成	37

IV. みんながつながるまちをつくる・・・・・・・・・・・・・・・・38~41

1. つながる仕組みを強化します

- | | |
|-------------------------------|----|
| (1) 地域ニーズ・社会資源の把握と分析 | 38 |
| (2) 地域支え合いセンター・生活支援サービス基盤整備事業 | 39 |
| (3) 福祉サービス事業者支援と協働 | 40 |
| (4) 社会福祉法人のネットワークの構築・地域貢献推進 | 40 |

V. 推進体制の充実・強化・・・・・・・・・・・・・・・・42~46

- | | |
|------------------|----|
| (1) 評議員会・理事会の運営 | 42 |
| (2) 情報公開と監査機能の充実 | 43 |
| (3) 会員・会費制度の普及促進 | 44 |
| (4) 財政の健全化 | 44 |
| (5) 人材育成と活用 | 45 |
| (6) 事業運営体制の強化 | 45 |

その他の活動・・・・・・・・・・・・・・・・47~48

※社会福祉法に規定する事業報告及び事業報告を補足する重要事項である附属明細書を「事業報告及び附属明細書」として一体的に作成しています。

令和2年度事業の総括

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大し、たびたび緊急事態宣言が発令されるなど、地域の様々な活動が制限を受け、市民の暮らしの安心が大きく揺らいだ一年となりました。本会の事業運営においても、感染状況を踏まえて感染拡大防止対策を徹底するとともに、コロナ禍だからこそ求められる事業や取組について推進を図りました。

サロン活動や地域お茶の間創造事業、各種の地域行事など、住民が交流する機会や居場所が多く地域でなくなったり縮小を余儀なくされ、これまで取り組まれてきた高齢者等の見守りや支援を絶やさないためにどうするのか、また、学校の休校等に伴い、休校中の子どもたちやその世帯の生活環境をどう整えるのかなど、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、地域には新たな課題が表出しました。そのような中、地域の福祉活動を支援する補助金の活用を提案しながら、訪問活動への転換や地域での子育て・子育てを支援する取組を推進するほか、オンラインを活用した研修等を実施し、地域の活動者らがつながり共に高め合う機会づくりに取り組みました。

新型コロナウイルスの感染拡大に関連して、特に、緊急貸付や特例貸付など資金貸付の件数が急増するなど、収入が減ったり職を失った方々からの生活相談が大きく増加しました。収束の兆しがなかなか見えず、個人や世帯が抱える課題が顕在化・複雑化するなかで、生活再建に向けた相談支援のほか、暮らし全体を捉えた包括的な支援に取り組みました。また、介護保険サービスならびに障がい福祉サービスにおいては、緊急事態宣言の発令に伴い、利用の自粛を要請するなど事業実績にも影響が及びましたが、職員や事業所が感染源とならないよう対策しながらサービス提供にあたりました。

これら相談支援はじめ、介護・障がいのサービスについては、コロナ禍においても、市民や利用者の安心した暮らしの継続を支える最後の砦として、できる限り事業を止めることなく必要な支援が行えるよう、各事業における相談対応の強化を図るとともに、事業・サービスの提供体制の整備に取り組みました。

法人における事業の推進体制の強化を図るため、市内に2事業所あった訪問介護および障がいヘルプサービス事業所を10月に統合し、人材の確保を含め事業の効率化を図りながら、提供体制の整備に取り組みました。また、事業・サービスの質の向上、求められる支援ニーズに対する新たな取組の開発等を目的に、法人内の部署を横断する事業推進プロジェクトを実践し、居住支援・生活支援、災害時の地域事業所連携等の課題に取り組みました。

併せて、職員の意欲の向上と能力開発を図り、一人一人の働きがいと専門性を高めるため、人事考課制度の運用を開始するとともに、職員の働きに関する各種の規程を整備し、働きやすい職場環境づくりを進めました。

I. 顔の見えるつながりを深める

1. 福祉のこころを育みます

(1) 広報・情報発信

目 標	ご近助活動やボランティア活動、市内の福祉事業者の取り組みなど、市内の様々な福祉活動についての情報を多様なメディアを通じて市民に届け、福祉理解や福祉活動への参加意識を高めます。	
	事業名	内 容
事業 計画	広報・情報 発信活動	<ul style="list-style-type: none"> ○社協広報誌「てとて」の発行（年4回） <ul style="list-style-type: none"> ・市内福祉活動情報誌として発行 ○ホームページやフェイスブックをはじめとしたSNSの充実、QRコードの活用や多様なメディアの積極的な活用と連動 ○地域共生社会フォーラムや福祉懇談会、各種講座での情報発信
事業 実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ブログ・SNS（Facebook・Twitter）による情報発信：29件 ○広報てとての発行（6月、9月、11月、2月） 	

(2) 福祉学習・啓発

目 標	人権の尊重や支え合い活動の必要性を啓発し、地域共生社会の実現に向けた機運づくりや取り組みを推進します。	
	事業名	内 容
事業 計画	地域共生社会 フォーラム （社会福祉大会）	<ul style="list-style-type: none"> ○市民や団体、事業所などによる地域福祉活動の発表や啓発 ○各関係機関、施設等による講演会福祉の企画、実施 ○共同募金の啓発
事業 実績	<ul style="list-style-type: none"> ○地域共生社会フォーラム（11/29） 参加者数：延べ185人 <ul style="list-style-type: none"> ・第1分科会《講演会》 参加者数：79人 コロナに負けない！支え合いマップと豊かさダイアグラムのススメ ・第2分科会《講演会》 参加者数：20人 その手があったか！これから始める会員獲得の秘訣！（大阪府老人クラブ連合会の取り組みから） ・第3分科会 《シンポジウム》 参加者数：32人 ご縁から始まる新たな人生 ～子育てボランティア活動の魅力～ ・第4分科会《ワークショップ》 参加者数：14人参加 ボディランゲージの楽しさ ～身体を使って表現してみよう～ ・第5分科会《オンライン講演会》 参加者数：26人参加 生まれつき繊細さや感性の鋭さを持つ人よりも敏感な人たち HSC と HSP ※コロナ対策のためオンラインを導入したが、これまで参加できなかった方の参加へつなげることもできた。 	

事業名		内 容
事業計画	福祉学習	<p>○福祉学習連絡会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、関係機関、福祉活動団体、当事者団体、福祉事業者等の参画を得る。 ・情報交換と取り組みの検討 ・福祉学習プログラムの提案、見直し <p>○各学校での福祉学習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者、活動団体、福祉事業所の参画を得て実施 ・地域の見守り、支え合い活動への参加 <p>○福祉体験学習の受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会各福祉拠点を活用した受け入れ ・市内福祉事業者による福祉体験の受け入れのための調整 <p>○出前講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や企業への開催の働きかけと実施
事業実績		<p>○福祉学習会の開催：10校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大原小学校4年 アイマスク体験、ゴールボール ・大原小学校5年 車イス体験、インスタントシニア体験 ・山東小学校4年 アイマスク体験、高齢者ならびに認知症の理解 ・伊吹小学校5年 高齢者ならびに認知症の理解、インスタントシニア体験、車イス体験 ・米原小学校4年 ふくしてどんなこと？ アイマスク体験、車イス体験、ゴールボール、シッティングバレーボール ・河南小学校3年 高齢者ならびに認知症の理解、インスタントシニア体験 ・河南小学校4年 当事者の講話、車イス体験、ボッチャ ・息長小学校4年 アイマスク体験、車イス体験、ゴールボール、ボッチャ ・坂田小学校4年 アイマスク体験、車イス体験、ユニバーサルスポーツ ・伊吹山中学校1年 ふくしてどんなこと？ 車イス体験 ・河南中学校3年 アイマスク体験、車イス体験、ゴールボール、ボッチャ ・双葉中学校1年 インスタントシニア体験、発達障害の理解について <p>○各学校との事前打ち合わせ（12回）</p> <p>○学校との連絡調整（94回）</p> <p>○出前講座の開催（延べ25回） 参加者数：延べ681人</p> <p>○福祉学習連絡会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校（11/17） 参加校数：6校 米原小学校、山東小学校、息長小学校、大原小学校、坂田小学校、河南小学校 ・中学校（11/19） 参加校数：6校 河南中学校、伊吹山中学校、米原中学校、大東中学校、柏原中学校、双葉中学校

事業名		内 容
事業計画	子育て講演会	○地域共生社会フォーラムの分科会として開催 保育幼稚園課、学校教育課、子育て支援センター等との共催 ※市内の子育て関係機関との共同立案を行う。
事業実績	○地域共生社会フォーラムにて開催（11/29） 参加者数：32人 子育て活動者シンポジウム ～子育てボランティア活動の魅力～ 講師：山下憲昭 氏（大谷大学教授） シンポジスト：高畑文子 氏（ファミサポ・サポート会員）、山下秀一 氏（おもちゃドクター）、膽吹照子 氏（お話ボランティア）	
事業名		内 容
事業計画	平和祈念式典	○米原市が非核平和都市宣言のまちであることを啓発する式典の開催 ※米原市・遺族会との合同事業
事業実績	○米原市、米原市遺族会との共催により開催（8/1） 参加者数：50人 場所：ルッチプラザ ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小	

2. 地域や人のつながりを深めます

(1) 子育て支援

目 標	親や家族、地域や関係機関が連携しながら、子どもの成長を促す様々な体験や交流・つながりづくりの場を創設するとともに、主体的な活動へ発展するよう支援します。														
	事業名	内 容													
事業 計画	子育てサークル 育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てサークル育成講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター等関係機関との連携 ○既存サークルの支援や情報交換・交流会の開催 ○子育てサークルに関する情報発信 													
事業 実績	<ul style="list-style-type: none"> ○こもちーズ広場（子育てサークル立ち上げ支援事業）の実施 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○子育てサークル入会希望者の紹介：1件 ○助成金「京都新聞子育て応援」の申請：2サークル（助成決定） ○子育てサークル交流会の実施（3/12） 参加者数：14人、ボランティア：6人 内容：紙芝居・ストロー紙飛行機作り・情報交換 翌年度のサークル作りについての意見交換 														
	事業名	内 容													
事業 計画	遊びの広場	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て中の親同士、子ども同士の交流・情報交換の場の提供 よーいドン!!（山東地域）、愛らんどキッズ（伊吹地域） おもちゃであそぼ（米原地域）、親子ふれあい広場（近江地域） 子育てサロン ○遊びの広場の周知とニーズの把握 													
事業 実績	<p>4月、5月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。6月より、感染拡大対策を講じ再開した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">○よーいドン!!（山東地域福祉活動センター）</td> <td style="width: 20%;">毎週火曜</td> <td style="width: 30%;">参加者数：延べ54人</td> </tr> <tr> <td>○愛らんどきっず（伊吹健康プラザ愛らんど）</td> <td>毎週土曜</td> <td>参加者数：延べ16人</td> </tr> <tr> <td>○親子ふれあい広場（やすらぎハウス）</td> <td>毎週月曜</td> <td>参加者数：延べ399人</td> </tr> <tr> <td>○おもちゃであそぼ（ゆめホール）</td> <td>毎月第2水曜</td> <td>参加者数：延べ11人</td> </tr> </table>			○よーいドン!!（山東地域福祉活動センター）	毎週火曜	参加者数：延べ54人	○愛らんどきっず（伊吹健康プラザ愛らんど）	毎週土曜	参加者数：延べ16人	○親子ふれあい広場（やすらぎハウス）	毎週月曜	参加者数：延べ399人	○おもちゃであそぼ（ゆめホール）	毎月第2水曜	参加者数：延べ11人
○よーいドン!!（山東地域福祉活動センター）	毎週火曜	参加者数：延べ54人													
○愛らんどきっず（伊吹健康プラザ愛らんど）	毎週土曜	参加者数：延べ16人													
○親子ふれあい広場（やすらぎハウス）	毎週月曜	参加者数：延べ399人													
○おもちゃであそぼ（ゆめホール）	毎月第2水曜	参加者数：延べ11人													

Ⅱ. くらしを守る活動を広げる

1. 子どもから高齢者まで一人一人に寄り添います

(1) 相談支援

目 標	<p>支援を必要とする人からの暮らしの困りごとに対応します。また、制度の間で暮らしづらさを抱える人への寄り添い型の相談支援活動をすすめるとともに、地域やボランティア、サービス事業者などの活動者への相談支援を行い、関係者の連携を進めます。</p> <p>さらに、単独の相談機関では対応しづらい複合的な課題に対して、多機関多分野の相談機関が連携強化できる相談支援体制、包括化ネットワークの構築、および新たな社会資源の創出をめざします。また、令和3年度からの新たな事業移行に向け、モデル事業の成果と課題整理を行います。</p>	
	事業名	内 容
事業計画	相談支援窓口	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティソーシャルワーカーの配置 ○各種専門窓口の設置と顧問弁護士との連携
事業実績	<p>【山東】 個人からの相談：186件 活動者からの相談：994件</p> <p>【伊吹】 個人からの相談：99件 活動者からの相談：1,015件</p> <p>【米原】 個人からの相談：137件 活動者からの相談：616件</p> <p>【近江】 個人からの相談：111件 活動者からの相談：591件</p>	
	事業名	内 容
事業計画	包括的支援体制構築事業 (市委託事業)	<ul style="list-style-type: none"> ○相談支援包括化推進会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議、相談支援担当者連絡会議、包括化コアメンバー会議 ・ケース共有会議 ・複合的な課題を抱えるケースへの相談支援（ケース共有会議および包括化ケース会議） ○研修会の開催 ○事例検討会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援機関、CSW、市内居宅介護支援事業所 ○社会資源の開発 <p>個別課題や個別ニーズを地域課題として認識できるよう、みんなで考える場づくり</p> <p>グループワークや研修会を通じて新たな社会資源の開発に向けた案の表出</p> ○モデル事業期間での成果と課題の整理、相談支援包括化推進会議における包括的な取組についての課題提起

事業実績	<p><モデル事業></p> <p>○相談支援包括化推進会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議（2回） ※内1回は、新型コロナの緊急事態宣言発令に伴い中止、資料を配布。 ・相談支援担当者連絡会議（4回） ・ケース共有会議（9回） <p>○研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括化コアメンバー会議（10回） ・包括化ケース会議（12回） <p>○事例検討会の開催（4回） 参加者数：延べ103人</p>
------	--

(2) 権利擁護

目 標	<p>認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない方などへの支援を行い、地域で安心してその人らしく生活できるよう支援します。</p> <p>また、行政や関係機関、事業所などと連携して多様な権利擁護ニーズへの取り組みを進めます。</p>	
	事業名	内 容
事業計画	<p>権利擁護センター (一部市委託事業)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○成年後見制度・虐待等の相談窓口 成年後見制度や虐待のほか権利擁護全般に関するあらゆる相談に応じる（なんでも相談会の開催） ○成年後見申立支援 親族等の申し立て支援等を行い、制度の利用促進を図る。 ○権利擁護に関する普及・啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・市民ならびに事業所、関係機関等に権利擁護に関する制度の普及、啓発活動を行う。 ・権利擁護や虐待に関する研修会の開催 ○後見人等支援 親族後見人のほか、第三者後見人が適切な後見活動ができるよう相談支援や研修の場の提供を行う。 ○関係機関のネットワーク構築 権利擁護に関する取り組みの普及や連携、調整を行う。 ○意思表示のための「暮らし方ノート」の見直し ○地域福祉権利擁護事業 <ul style="list-style-type: none"> ・暮らし全体のアセスメントと定期的なモニタリング ・支援計画の見直しを行い、生活目標（支援目標）を共有したうえで認知症や障がいのある人への相談、生活支援を行う。 ・福祉サービスの利用援助／日常の金銭管理／書類等の預かり ○法人後見事業 意思決定支援を基本に、本人の望む生活の実現に向けて支援を行う。

○地域福祉権利擁護事業 契約件数：90件 ※3月末現在

実績	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談支援回数	1,904	3,482	2,035	205	7,626
新規契約件数	4	6	2	0	12
終了件数	7	3	0	1	11
3月末契約数	24	45	18	3	90

○法人後見事業

- ・受任件数：10件（補助：1件、保佐：4件、後見：5件）
- ・終了件数：1件
- ・市長申立支援：1件

○普及啓発活動・成年後見サポート

- ・民生委員児童委員への制度説明（伊吹地域／山東地域／米原地域／近江地域）
- ・成年後見に関する相談、問い合わせ：11件
- ・権利擁護センター運営委員会の開催（7/16、11/11）
- ・権利擁護支援向上委員会の開催（9/18、3/16）
- ・成年後見人のための情報交換会（3/25） ※長浜市社会福祉協議会との共催

○なんでも相談会の開催（8/29、3/20） 相談件数：15件

○高齢者・障がい者虐待に関する研修会の開催（1/13）

- ・昨年度行ったアンケート結果をもとに、「虐待通報からの流れ」「虐待者、被虐待者に対してより良い支援をしていくために必要なこと」についてのグループワークを実施
- 参加者数：計画相談事業所4人、居宅介護支援事業所・小規模多機能8人、米原近江地域包括支援センター2人、市4人

(3) 介護保険事業

<p>目 標</p>	<p>利用者が自らもつ能力を活かし、住み慣れた地域で利用者が望む暮らしを続けることができるよう、介護や医療、看護、リハビリテーション、さらに在宅生活を前提とした様々な主体が行う生活支援と連携しながら、一人ひとりの心身機能の状態や生活環境に応じた専門的なケアを提供します。</p> <p>また、利用者やその世帯が抱える生活課題に着目し、各事業所が身近な相談窓口として関連する機関と連携して課題の解決にあたるとともに、既存のサービス等では対応できないニーズに対し、サービス内容を見直し充実を図るほか、ニーズに応じた新たなサービスの開発に取り組みます。</p>				
<p>事業計画</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="244 577 544 622">事業名</th> <th data-bbox="552 577 1511 622">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="244 627 544 2056"> <p>通所介護事業</p> </td> <td data-bbox="552 627 1511 2056"> <p>○送迎、健康チェック、入浴及び食事、機能訓練、レクリエーション等のサービスを提供するとともに、生活相談や助言を行う。</p> <p>○日常生活動作の維持向上、認知症の進行予防を目的に、「自立支援」に視点を置いた各種のプログラムを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ職との連携による個別プログラム ・歯科医（歯科衛生士）との連携による口腔ケア <p>○相談機能の強化に取り組むとともに、介護者家族への支援、介護予防の視点による場づくりを進めるなど、身近な地域の福祉拠点としての機能を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の運営、地域への出張相談の実施 ・家庭（自宅）訪問の実施、ニーズの把握と課題への具体的対応 ・家族介護者支援事業の実施（介護者のつどい、勉強会の開催） ・事業所を活用した地域の居場所（活動の場）づくり <p>○介護講座の開催、実習の受入れ、地域の活動者向けプログラムの提供を通じ地域の福祉人材を育成する。</p> <p>○利用者が抱える多様なニーズに対応する制度外サービスを実施する（「買い物サポートサービス」、「夕食持ち帰りサービス」等）</p> <p>○要支援者等に生活機能向上のための機能訓練を行い、状態の維持・改善を図るとともに、個々の状態を踏まえながら、多様なサービスの利用を促進する（総合事業通所介護）</p> <p>【通常規模型：3 事業所】 西部デイサービスセンターきらめき デイサービスセンターゆめホール デイサービスセンター愛らんど</p> <p>【地域密着型：5 事業所】 デイサービスセンター寄ろ家うかの デイサービスセンター行こ家のとせ あったかほーむかせの 東部デイサービスセンターはびろ 北部デイサービスセンターきたで～</p> </td> </tr> </tbody> </table>	事業名	内 容	<p>通所介護事業</p>	<p>○送迎、健康チェック、入浴及び食事、機能訓練、レクリエーション等のサービスを提供するとともに、生活相談や助言を行う。</p> <p>○日常生活動作の維持向上、認知症の進行予防を目的に、「自立支援」に視点を置いた各種のプログラムを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ職との連携による個別プログラム ・歯科医（歯科衛生士）との連携による口腔ケア <p>○相談機能の強化に取り組むとともに、介護者家族への支援、介護予防の視点による場づくりを進めるなど、身近な地域の福祉拠点としての機能を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の運営、地域への出張相談の実施 ・家庭（自宅）訪問の実施、ニーズの把握と課題への具体的対応 ・家族介護者支援事業の実施（介護者のつどい、勉強会の開催） ・事業所を活用した地域の居場所（活動の場）づくり <p>○介護講座の開催、実習の受入れ、地域の活動者向けプログラムの提供を通じ地域の福祉人材を育成する。</p> <p>○利用者が抱える多様なニーズに対応する制度外サービスを実施する（「買い物サポートサービス」、「夕食持ち帰りサービス」等）</p> <p>○要支援者等に生活機能向上のための機能訓練を行い、状態の維持・改善を図るとともに、個々の状態を踏まえながら、多様なサービスの利用を促進する（総合事業通所介護）</p> <p>【通常規模型：3 事業所】 西部デイサービスセンターきらめき デイサービスセンターゆめホール デイサービスセンター愛らんど</p> <p>【地域密着型：5 事業所】 デイサービスセンター寄ろ家うかの デイサービスセンター行こ家のとせ あったかほーむかせの 東部デイサービスセンターはびろ 北部デイサービスセンターきたで～</p>
事業名	内 容				
<p>通所介護事業</p>	<p>○送迎、健康チェック、入浴及び食事、機能訓練、レクリエーション等のサービスを提供するとともに、生活相談や助言を行う。</p> <p>○日常生活動作の維持向上、認知症の進行予防を目的に、「自立支援」に視点を置いた各種のプログラムを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ職との連携による個別プログラム ・歯科医（歯科衛生士）との連携による口腔ケア <p>○相談機能の強化に取り組むとともに、介護者家族への支援、介護予防の視点による場づくりを進めるなど、身近な地域の福祉拠点としての機能を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の運営、地域への出張相談の実施 ・家庭（自宅）訪問の実施、ニーズの把握と課題への具体的対応 ・家族介護者支援事業の実施（介護者のつどい、勉強会の開催） ・事業所を活用した地域の居場所（活動の場）づくり <p>○介護講座の開催、実習の受入れ、地域の活動者向けプログラムの提供を通じ地域の福祉人材を育成する。</p> <p>○利用者が抱える多様なニーズに対応する制度外サービスを実施する（「買い物サポートサービス」、「夕食持ち帰りサービス」等）</p> <p>○要支援者等に生活機能向上のための機能訓練を行い、状態の維持・改善を図るとともに、個々の状態を踏まえながら、多様なサービスの利用を促進する（総合事業通所介護）</p> <p>【通常規模型：3 事業所】 西部デイサービスセンターきらめき デイサービスセンターゆめホール デイサービスセンター愛らんど</p> <p>【地域密着型：5 事業所】 デイサービスセンター寄ろ家うかの デイサービスセンター行こ家のとせ あったかほーむかせの 東部デイサービスセンターはびろ 北部デイサービスセンターきたで～</p>				

事業実績	<p>○運営推進会議の開催：8事業所、延べ15回 ※新型コロナウイルス感染対策から一部書面による開催あり。</p> <p>○個別リハビリの実施：6事業所</p> <p>○歯科医等と連携した口腔ケアの実施：4回（はびろ、きたで～）</p> <p>○研修の実施 ※法人内および各事業所にて実施 法令遵守、感染症対策、食中毒防止、清拭（※コロナ禍での訪問対応）、人権、接遇虐待防止、プライバシー保護、緊急時対応、救急法、介護技術、認知症ケア、精神疾患、事例検討（あすケア等）</p> <p>○看護師会議の開催：緊急時対応マニュアルの作成</p> <p>○家庭訪問の実施：延べ47件</p> <p>○生活支援活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夕食持ち帰り：対象者12人（ゆめホール、かせの） ・福祉車両の貸し出し：延べ15件（きらめき、きたで～） ・買い物サポート：対象者7人（かせの、きたで～） ・服薬管理：対象者8人（ゆめホール、のとせ、かせの） ・衣類等の預かり：対象者11人（きらめき、ゆめホール、愛らんど、のとせ） <p>○音楽療法の実施：4事業所、延べ67回</p> <p>○傾聴ボランティア活動：4回（かせの）</p> <p>○消防訓練の実施 ※各事業所にて年2回実施</p> <p>○広報の発行</p> <p>○出前講座の開催：延べ15回</p> <p>○地域交流事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援の実施（きらめき、ゆめホール、愛らんど） ・遊びの広場の開催（うかの） <p>○令和2年度末で、本会による運営を終了する西部デイサービスセンターきらめきについて、令和3年度より運営を行う法人への引き継ぎを行った。</p>
------	--

【西部デイサービスセンターきらめき】定員：30人

事業実績	■稼働日数：310日 ■一日平均利用者数：19.0人 ■平均介護度：2.6 ■実利用者数：61人 ■新規契約数：8件 ■契約終了数：15件													
	実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ利用者数	563	520	540	488	493	471	472	468	513	460	430	493	5,911
	前年度	522	569	552	608	579	566	596	558	530	499	535	551	6,665

【デイサービスセンターゆめホール】定員：20人

事業実績	■稼働日数：257日 ■一日平均利用者数：15.1人 ■平均介護度：2.2 ■実利用者数：54人 ■新規契約数：6件 ■契約終了数：14件													
	実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ利用者数	366	302	361	364	326	331	321	298	304	275	310	340	3,898
	前年度	343	358	279	339	308	323	344	329	328	341	324	369	3,985

【デイサービスセンター愛らんど】定員：30人														
事業実績	■稼働日数：310日 ■一日平均利用者数：18.7人 ■平均介護度：1.9 ■実利用者数：81人 ■新規契約数：22件 ■契約終了数：20件													
	実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ利用者数	438	435	506	524	498	499	549	514	510	429	439	455	5,796
	前年度	418	450	421	439	429	455	517	484	459	412	455	443	5,382
【デイサービスセンター寄ろ家うかの】定員：10人														
事業実績	■稼働日数：310日 ■一日平均利用者数：7.3人 ■平均介護度：2.83 ■実利用者数：16人 ■新規契約数：1件 ■契約終了数：3件													
	実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ利用者数	198	177	207	211	205	202	199	172	187	161	167	178	2,264
	前年度	211	203	208	218	221	201	216	221	216	205	207	219	2,546
【デイサービスセンター行く家のとせ】定員：10人														
事業実績	■稼働日数：310日 ■一日平均利用者数：8.43人 ■平均介護度：1.5 ■実利用者数：34人 ■新規契約数：12件 ■契約終了数：5件													
	実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ利用者数	197	192	214	222	226	235	235	215	219	206	208	244	2,613
	前年度	207	212	207	231	223	223	233	220	215	210	189	205	2,575
【あったかほーむかせの】定員：10人														
事業実績	■稼働日数：259日 ■一日平均利用者数：8.5人 ■平均介護度：1.5 ■実利用者数：22人 ■新規契約数：2件 ■契約終了数：2件													
	実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ利用者数	167	150	209	208	160	190	189	182	201	188	184	194	2,222
	前年度	188	208	184	215	197	199	212	186	191	174	182	189	2,325
【東部デイサービスセンターはびろ】定員：10人														
事業実績	■稼働日数：310日 ■一日平均利用者数：8.89人 ■平均介護度：1.5 ■実利用者数：34人 ■新規契約数：9件 ■契約終了数：4件													
	実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ利用者数	216	187	242	248	237	232	246	230	238	225	224	248	2,773
	前年度	227	222	213	246	216	211	240	218	215	206	201	224	2,639
【北部デイサービスセンターきたで〜】定員：10人														
事業実績	■稼働日数：259日 ■一日平均利用者数：7.19人 ■平均介護度：1.5 ■実利用者数：22人 ■新規契約数：8件 ■契約終了数：2件													
	実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ利用者数	141	143	156	139	125	169	186	179	159	143	142	182	1,864
	前年度	158	161	150	174	168	164	177	144	127	106	112	133	1,774

事業名		内 容
事業計画	訪問介護事業	<p>○利用者宅を訪問し、身体介護ならびに生活援助を行う。</p> <p>○重度要介護者の在宅生活の支援と家族介護者への支援の強化を目指し、医療やリハビリ等との連携を高める。</p> <p>○地域の福祉人材を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護講座の開催、実習の受入れ、地域の活動者向けプログラムの提供など <p>○利用者が抱える多様なニーズに対応するサービス（制度外サービス）を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあいよりそいサービス」の実施 <p>○専門的サービスが必要な要支援者等に、身体介護や生活援助を行うとともに、個々の状態を踏まえながら、多様なサービスの利用を促進していく（総合事業訪問介護）</p> <p>【事業所】</p> <p>ヘルパーステーション米原近江（～令和2年9月）</p> <p>ヘルパーステーション山東伊吹（～令和2年9月）</p> <p>ビジットケアあおば（令和2年10月～）</p>

事業実績	<p>■新規契約数：33件</p> <p>■契約終了数：39件</p> <p>○新型コロナウイルス感染防止策を講じながら各訪問を実施</p> <p>○10月に、やすらぎハウスにて、ヘルパーステーション山東伊吹とヘルパーステーション米原近江を統合した。また、統合に合わせ、職員間の連携ソフトの導入や直行直帰型の訪問体制など、サービス提供体制を整えた。</p> <p>○ふれあいよりそい事業：30件</p> <p>○研修の実施（法令遵守、食中毒予防、人権、感染症対策、救急法）</p> <p>○地域交流 上多良サロンへの参加</p> <p>※男性クッキングは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から中止</p>													
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

延べ派遣 時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
山東伊吹	443	374	373	390	405	464	—	—	—	—	—	—	2,449
米原近江	482	501	533	503	495	476	—	—	—	—	—	—	2,990
あおば	—	—	—	—	—	—	905	846	923	842	828	882	5,226
合計	925	875	906	893	900	940	905	846	923	842	828	882	10,665
前年度	1,005	925	856	874	900	936	984	938	1,048	973	958	964	11,361

事業名		内 容													
事業計画	小規模多機能型 居宅介護事業	<p>○「通い」を中心として、利用者の様態や希望に応じ、随時「訪問介護」や「泊まり」を柔軟に組み合わせたサービスを提供する。</p> <p>○利用者が暮らす地域との連携を図りながら、住み慣れた地域や自宅での生活を継続できるよう、地域の福祉拠点としての機能を発揮し、様々な場面で自立に向けた支援と介護者家族への支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフサポートプランの作成 ・相談機能の拡充（出張相談の実施など） ・災害時における地域との協力体制の整備 <p>○地域の福祉人材を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護講座の開催、実習の受入れ、地域の活動者向けプログラムの提供など <p>【事業所】 いをぎの家</p>													
	事業実績	<p>■登録利用者数：月平均 19 人 ■延べ利用回数：9,208 回</p> <p>■平均介護度：1.98</p> <p>■新規契約数：7 件 ■契約終了数：11 件</p> <p>○運営推進会議（6回）</p> <p>○地域交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩脇福祉会運営会議（2回） ・岩脇見守りネットワーク会議（4回） ・岩脇要支援者戸別訪問（2）回 ・岩脇自主防災会議（1 回） ・岩脇清掃活動（1 回） ・岩脇自治会サロン参加（1 回） ・事業所周辺清掃（1 回） ・岩脇自治会いをぎの家合同避難訓練（1 回） <p>○ちょっと相談所の開設 ※毎週月～土、10 時～16 時</p> <p>○認知症カフェの開催（1 回）</p> <p>○あすけあ事業（5回 ※内、打合せ 1 回、振り返り 1 回）</p> <p>○研修の実施 感染症対策、人権、法令遵守、プライバシー保護、記録、食中毒予防、接遇、介護技術、緊急時対応フローチャート</p>													
	実績 (人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
	登録者数	21	20	21	20	19	18	19	19	18	18	18	18	229	231
延べ 利用 回数	通い	261	269	247	278	265	250	275	267	261	233	202	236	3,044	3,325
	訪問	516	542	497	511	483	429	469	473	547	548	466	495	5,976	4,106
	宿泊	25	20	13	13	11	9	26	19	14	13	12	13	188	261

事業名		内 容												
事業計画	居宅介護支援事業	<p>○要支援・要介護認定を受けた人からの相談を受け、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、他の介護サービス事業者との連絡、調整等を行う。</p> <p>○介護・福祉、医療やその他の生活支援サービス、家族、地域の支えあい活動やボランティア活動等を総合的にマネジメントする。</p> <p>○相談支援者の連携を強化し、関係機関と地域のネットワーク化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絆バトンの普及啓発、災害時要援護者支援体制の構築 <p>○介護者 OB への訪問活動 介護を終えられた方が社会的に孤立しないよう訪問活動を行う。</p> <p>○介護等に関する情報誌を発行する。</p> <p>【事業所】 ケアプランセンター米原市社会福祉協議会</p>												
	事業実績	<p>■新規契約数：30 件</p> <p>■契約終了数：39 件</p> <p>○福祉懇談会、個別見守りネットワーク会議等への出席</p> <p>（藤 川）6/26 サロン委員会、7/14 個別支援計画作成会議</p> <p>（下丹生）8/14 個別支援計画作成会議</p> <p>（村 木）9/18 福祉懇談会</p> <p>（賀目山）9/5 見守りネットワーク会議</p> <p>（世 継）7/11 見守りネットワーク会議</p> <p>（舟 崎）7/14 見守りネットワーク会議</p> <p>（伊 吹）7/22 見守りネットワーク会議、9/9 個別支援計画作成会議</p> <p>（上板並）9/12 福祉懇談会</p> <p>（賀目山）10/6見守りネットワーク会議</p> <p>（池 下）12/5見守りネットワーク会議、個別支援計画作成</p> <p>（河 内）1/27 見守りネットワーク会議</p> <p>○部署横断事例検討会への出席：8回</p> <p>○事業所内部事例検討会の開催（10/14）</p> <p>○他法人との共同事例検討会の開催（11/12、2/18）</p> <p>○新規利用者への絆バトンの有無の確認</p> <p>○OOB 訪問の実施：10 件</p>												
	(件)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	給付管理	211	204	206	194	191	194	193	191	193	189	180	196	2,342
	前年度	210	219	215	218	219	224	234	224	221	211	209	218	2,622

(4) 介護予防事業

目 標	<p>高齢者が要介護状態となることの予防や要介護状態等の軽減・悪化の防止を目的に、生活機能の低下した高齢者に対し、「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランスよく働きかけます。運動機能や栄養状態といった身体機能の改善だけでなく、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促し、一人ひとりの生きがいや自己実現につながるプログラムを実施します。</p>														
事業名		内 容													
事業計画	通所型サービスA 介護予防・日常生活支援 総合事業		○機能訓練の他、社会参加・交流の機会を設けるなど、自立した日常生活の確保に向けたプログラムを実施する。 【事業所】 西部デイサービスセンターきらめき デイサービスセンターゆめホール デイサービスセンター愛らんど												
事業実績	■稼働日数：207日（きらめき：52日、愛らんど：155日） ■登録者数：25人（きらめき：7人、愛らんど：18人） ■新規契約数：16件（きらめき：5件、愛らんど11件） ■契約終了数：12件（きらめき：2件、愛らんど10件） ■延べ利用者数：936人（きらめき：227人、愛らんど：709人） ○筋トレマシンを使ったトレーニング、筋力アップ体操、歩行訓練の実施 ○体力測定の実施（2回） ○認知機能低下予防プログラムの実施 ○仲間づくりと交流の場の提供 ※令和2年度より、提供時間を2時間（10：00～12：00）に短縮														
延べ 利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	
きらめき	10	12	17	14	13	18	18	22	31	17	22	33	227	244	
愛らんど	61	49	49	51	45	52	74	71	53	60	62	82	709	1,130	
事業名		内 容													
事業計画	高齢者筋力向上 トレーニング事業 （楽トレ事業）		○健康づくりと介護予防に向けた意識の高揚を図り、自主的、継続的な取り組みにつながるよう支援する。 ・筋トレマシン講習会の開催（月1回／3会場） ・筋トレマシンの地域開放 ・健康教室の開催（健康づくり、介護予防に関する講座／年2回 3会場） ・体力測定の実施（年2回 3会場） 【会場】やすらぎハウス、きらめきステーション、愛らんど												
事業実績	○筋トレマシン自主トレーニング ・やすらぎ：延べ利用者数：1,057人 ・きらめき：延べ利用者数：1,080人 ・愛らんど：延べ利用者数：346人 ○筋トレマシン講習会の開催 ・やすらぎ（10回） 受講者数：13人 ・きらめき（10回） 受講者数：8人 ・愛らんど（10回） 受講者数：3人 ※健康教室・体力測定は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止														

(5) 障がい者福祉サービス

目 標	障がいのある人が、地域社会の一員として暮らしていけるよう、関係機関と連携しながら、生活支援や就労支援に取り組みます。														
	サービス提供体制の見直し・強化に取り組み、支援内容の充実と質の向上を図るとともに、求められる支援ニーズに対し、新たなサービス開発に取り組みます。														
事業名		内 容													
事業計画	障がい者相談支援センター ほたる (一部米原市・長浜市委託事業)		<p>○障がい者（児）とその家族の地域での生活を支援するため、福祉サービスの利用や各種制度の活用、生活上の相談支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス等利用計画の作成や継続的な評価を行い、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう支援する。 ・基幹相談支援センターの機能強化員を配置し、湖北圏域の相談支援機関の調整や相談員の支援を行う。 												
	事業実績		<p>昨年度に引き続き、基幹相談調整センターの事業に機能強化員として参画した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため学校が一時的に休校になったり、事業所が運営を自粛される等があり、必要に応じてサービス調整を行うとともに、利用者に対し予防の必要性とその方法等について伝えた。</p> <p>■相談支援件数：延べ 10,051 件</p> <p>■新規相談件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画相談ケース：年間9件 ・一般相談ケース：年間7件 <p>※基幹相談調整センター等から新規依頼があり計画につながったケースは9件、行政等から支援が必要ではと相談があり、支援会議に参加したケース（一般相談）は7件、その他電話等で相談があり対応したケースが5件あった。</p> <p>■相談支援実利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児：14人 ※うち計画相談 13人 ・障がい者：193人 ※うち計画相談 173人 												
実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	
計画	31	19	16	14	12	7	11	13	11	12	14	27	187	199	
モニタリング	18	21	22	20	15	24	36	25	10	23	11	9	234	216	
合計	49	40	38	34	27	31	47	38	21	35	25	36	421	415	
事業名		内 容													
事業計画	自立生活援助		<p>○障がい者が地域において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、定期的な巡回または随時の通報を受けて訪問し、相談対応等により状況を把握して必要な情報の提供、助言その他必要な支援を行う。</p> <p>【事業所】障がい者相談支援センター ほたる</p>												
	事業実績		<p>■登録者数：1人（12月末で終了）</p> <p>※金銭確認と家計簿の記入支援、郵便物等書類の確認のほか、必要に応じての受診同行や行政窓口等に同行して手続き支援を行ったが、12月末で支給決定が終了となったため地域福祉権利擁護事業に引き継いだ（訪問：延べ17回、同行：延べ3回）</p>												

事業名		内 容												
事業計画	障がい者 ホームヘルプ サービス	<p>○身体介護や家事援助、乗降介助を行うほか、行動する際に生じる危険を回避するために必要な援護や外出時における移動の介護、その他生活全般にわたる援助を行う。（居宅介護／重度訪問介護／行動援護／同行援護）</p> <p>○障がい児者の家族との交流会の開催（年1回）</p> <p>○自立生活の支援を目的に訪問・随時対応を行う。</p> <p>【事業所】</p> <p>支援センター米原近江（～令和2年9月）</p> <p>支援センター山東伊吹（～令和2年9月）</p> <p>ビジットケアあおば（令和2年10月～）</p>												
		<p>■新規契約数：8件</p> <p>○10月に、支援センター山東伊吹と支援センター米原近江を統合</p> <p>○研修の実施（重度訪問介護）</p>												
事業実績	延べ派遣 時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	山東 伊吹	243	247	262	262	274	269	—	—	—	—	—	—	1,557
	米原 近江	454	440	429	475	419	408	—	—	—	—	—	—	2,625
	あおば	—	—	—	—	—	—	714	705	708	720	655	746	4,248
	合計	697	687	691	737	693	677	714	705	708	720	655	746	8,430
	前年度	646	676	679	712	639	635	683	670	694	511	661	739	7,945
事業名		内 容												
事業計画	就労継続支援 B型事業	<p>○就労支援や社会参加の促進を目指し就労の機会を提供するとともに、生産活動等を通じてその知識と能力の向上に必要な訓練等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルショップの運営 ・喫茶、駄菓子、花苗等の販売 ・企業内就労、企業の下請け作業 など <p>○地域とのつながり、地域課題への対応を意識した取り組みを企画し運営する（独自商品の企画、販売など）</p> <p>○就労移行の促進と定着に向けた支援を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設外就労、施設外支援の促進（企業実習の機会の確保、家庭訪問等の就労定着サポートなど） <p>○一人ひとりの生活形態を考慮した移行支援を行う（高齢障がい者等に対するサービス移行支援など）</p> <p>○個別支援の強化を図る（作業環境の整備など）</p> <p>○災害時の地域ネットワークづくりに取り組む。</p> <p>○「障がいの理解啓発」、「環境啓発」を目的とした講座の開催</p> <p>【事業所】</p> <p>ほおずき作業所</p>												

事業実績	<p>○リサイクルショップの運営 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休業（4/29～5/6）の他、5月 末まで運営の縮小やイベント（ほおずき市）を中止した。臨時休業中に店内のレイア ウトを変更したほか、コロナ禍における利用者支援やショップ運営にあたり感染症対 策を徹底した。定期的なイベントの開催は規模を縮小するかたちで行うことが出来た が、移動販売や出前喫茶、花苗等の売り上げは伸びなかった。</p> <p>○下請け作業等 コロナ禍で移動販売先の減少や企業からの下請け作業が減少した。真綿引きをしてい た施設外就労先1カ所が12月で廃業となった。2月より他の企業から同様の真綿引 き作業の依頼があり、作業を再開することが出来た。単発作業ではあるが、新規の作 業依頼が2社からあった。</p> <p>○サマーバーゲンの実施（8/6～8/8） 来店者数：239人 ○極フェスタの開催（10/1～10/3） 来店者数：360人 ○歳末大売り出しの実施（12/2～12/5） 来店者数：330人</p>		
		実績	前年度
	開設日数	251日	254日
	実利用者数	26人	27人
	就職者数	1人	0人
	延べ利用者数	4,938人	5,184人
	施設外就労（企業内作業）	312回/724人	345回/858人
	リメイク教室	0人	3回/34人
	音楽療法	0人	3回/62人
	出前喫茶	9回/180人	15回/375人
	移動販売	56回	132回
	延べ来客数	7,348人	8,379人
	延べボランティア活動者数	87人	83人
事業名	内 容		
事業計画	<p>地域生活支援事業</p> <p>○移動支援事業 障がいのある方の外出等、移動に関わる援助を行う。</p> <p>○日中一時支援事業 介護者の一時的な休息や就労支援のために、日中において障が いのある方の活動の場を確保する。 《サービス提供場所》 デイサービスセンター寄ろ家うかの 東部デイサービスセンターはびろ コーポラスきたがわ</p> <p>【事業所】 支援センター米原近江（～令和2年9月） 支援センター山東伊吹（～令和2年9月） ビジットケアあおば（令和2年10月～）</p>		

コロナ禍の緊急事態宣言が解除され、一時期減少傾向になった利用時間数が徐々に戻りつつあったが、感染の不安から利用を自粛されていた利用者もあり、昨年に比べると減少した。計画相談と連携し、ケースに応じた対応を行った。感染対策を徹底して支援にあたった。

【移動支援事業】

■新規利用件数：2件

【日中一時支援事業】

■新規利用件数：0件

【移動支援事業】

延べ派遣 時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
山東 伊吹	32	30	36	37	44	36	-	-	-	-	-	-	215
米原 近江	22	16	48	69	62	67	-	-	-	-	-	-	284
あおば	-	-	-	-	-	-	129	102	89	74	70	87	551
合計	54	46	84	106	106	103	129	102	89	74	70	87	1,050
前年度	117	172	160	165	142	132	145	160	118	134	107	88	1,640

【日中一時支援事業】

延べ派遣 時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
山東 伊吹	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0
米原 近江	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0
あおば	-	-	-	-	-	-	0	85	0	0	0	0	85
合計	0	0	0	0	0	0	0	85	0	0	0	0	85
前年度	4	4	0	4	17	0	0	0	7.5	0	0	0	36.5

事業実績

(6) 放課後児童クラブ

目 標	<p>子どもたちの思いをしっかりと受け止め、一人ひとりに応じた支援の充実を図り、保護者と支援員とが一緒になって、子どもたちが安全に安心して成長できる居場所づくりをすすめます。</p> <p>また、ボランティアをはじめとした地域住民との関わりを深めながら、児童の健全な育ちを促すとともに、市内の他のクラブとも連携し、共に研修・研鑽を重ね、全体の質の向上をめざします。</p>													
事業名		内 容												
事業 計画	放課後児童クラブ (市委託事業)	<p>○地域住民、ボランティア、各種団体と協働する事業の実施 ○保護者会との連携強化（連絡会議の開催、協働事業の実施等） ○行政と連携した研修の実施</p> <p>【事業所】 げんきッズ坂田 げんきッズ息長 A げんきッズ息長 B</p>												
事業 実績	<p>○4月、5月は、新型コロナウイルス感染症の影響から休校となったため、年間児童に加えて長期利用児童の受け入れを行った。1年生から2年生、医療従事者の子と特別支援学級児童を対象としたが、3クラブで延べ374名（4月14日～5月29日）の利用があった。感染予防対策を施しながら運営にあたった。</p> <p>○学童内での感染予防として、うがい手洗いの励行、換気、手指の消毒、マスクの着用、おやつ時の机の向きや間隔の工夫と仕切り板の設置により飛沫防止に努めた。</p> <p>○令和2年度末で、本会によるげんきッズ坂田の運営を終了するに伴い、令和3年度より運営を行う法人への引き継ぎを行った。</p> <p>○地域住民・ボランティア・各種団体との交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯教室の開催（米原警察署生活安全課） ・消火・地震体験の実施（湖北地域消防本部） ・「やすらぎウィーク」への参加 <p>○保護者会との連携</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者会による清掃活動は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・げんきッズ坂田の閉所に伴う保護者会会則の改定 ・保護者会アンケートの実施 <p>○研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県研修参加支援員による復命研修 ・支援員研修 <p style="padding-left: 20px;">支援員マニュアルの履修、「ヒヤリハット・事故報告・苦情」の実例研修</p>													
【げんきッズ坂田】														
実 績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開設日数	21	18	22	21	19	20	22	19	16	19	18	23	238	
実利用者数	25	4	20	20	21	19	18	15	17	17	17	17	210	
延利用者数	200	46	335	324	279	292	295	219	260	227	235	285	2,997	

【げんきッズ息長 A・B】													
実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	21	18	22	21	19	20	22	19	16	19	18	23	238
実利用者数 (A)	29	4	20	29	29	20	20	20	20	21	20	28	260
実利用者数 (B)	35	9	17	38	39	18	17	17	21	21	17	25	274
延利用者数 (A)	196	48	379	395	397	337	372	324	325	308	276	402	3,759
延利用者数 (B)	265	112	281	336	427	232	242	207	239	239	186	295	3,061
延利用者数 (AB計)	461	160	660	731	824	569	614	531	564	547	462	697	6,820

(7) 生活困窮者自立支援事業等

目 標	<p>社会的孤立や経済的困窮などの課題を抱える方に対し、自立相談支援事業による生活再建に向けた相談支援と、就労準備支援事業による就労までの支援、家計改善支援による家計再建の支援を行います。また、生活自立のための訓練や社会参加の場の提供、一般就労になじめない方の新しい働き方の支援を行います。</p> <p>子どもの貧困対策、子どもの育ちを支援する活動として、学習・生活支援活動や社会交流活動を推進します。</p>	
	事業名	内 容
事業計画	自立相談支援事業 (市委託事業)	○生活の困りごとや不安を抱えている方に対して、どのような支援が必要かを一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行う。
事業実績	<p>一部、コロナ特例貸付の要件に自立相談支援事業への相談も位置付けられたことから、相談件数が伸びた。</p> <p>■新規相談受付件数：171 件</p> <p>■プラン作成件数：11 件（新規プラン7件、再プラン4件）</p> <p>■プラン評価件数：10 件（終結6件、再プランで継続4件）</p>	
	事業名	内 容
事業計画	<p>就労準備支援事業 (市委託事業)</p> <p>・ 被保護者就労準備支援等事業 (市委託事業)</p>	<p>本人の状態に応じた日常生活自立・社会生活自立・就労自立に関する支援を行う。</p> <p>○訪問活動や居場所の提供などにより、生活習慣確立のための支援を行う。</p> <p>○社会体験・社会参加活動支援、就労体験・就労支援 本会の活動拠点やサービス事業を活用し、社会体験、就労体験の場を提供するとともに、地域活動や企業・事業所、団体等とともに連携を図り、地域での社会体験・就労体験の場づくりをすすめる。</p> <p>○就職活動の知識や技法の習得を支援する。 パソコンの練習、履歴書作成などの支援、基礎学力向上を目指した学習の機会の提供を行う。</p>

事業実績	<p>コロナの影響により作業の発注がなくなったり、自主製品を販売するイベントが中止されるなど影響を受けたが、新たな社会体験先や販売経路を開拓し提供した。</p> <p>【就労準備支援事業】</p> <p>■プラン作成件数：9件（新規プラン7件、再プラン2件）</p> <p>■プラン評価件数：7件（終結5件、再プラン継続2件）</p> <p>○居場所開設・内職提供 提供日数：113日 延べ参加者数：584人</p> <p>○社会体験・軽作業の提供（駅前駐車場清掃、自主製品の納品、養蚕業の清掃作業、ポスティング） 提供日数：14日 延べ参加者数：22人</p> <p>○就労体験（清掃作業、食器洗浄・調理補助、食品製造加工等） 提供日数：92日 延べ参加者数：92人</p> <p>○協力企業・事業所等（受け入れ先）の開拓 商工会等の協力を得ながら企業・事業所等の訪問を行い、新たに3ヶ所開拓することができた。協力企業で就労体験を行った人の中にはそのまま雇用に繋がったケースもあった。</p> <p>【被保護者就労準備支援事業】</p> <p>○居場所開設・内職提供 提供日数：96日 延べ参加者数：125人</p> <p>○社会体験・軽作業の提供（駅前駐車場清掃、ポスティング、養蚕業の清掃作業） 提供日数：10日 延べ参加者数：12人</p> <p>○就労体験（清掃作業） 提供日数：54日 延べ参加者数：78人</p>	
	事業名	内 容
事業計画	家計改善支援事業 (市委託事業)	○債権整理や家計に関する相談助言・支援、貸付のあっせん等を行う。
事業実績	<p>プラン終了者へのフォロー対応やプラン未作成者への関りの中で、家計改善に向けた相談支援を行った。</p> <p>■プラン作成件数：3件</p> <p>■プラン評価件数：3件（終結2件、再プラン継続1件）</p>	
事業名	内 容	
事業計画	就労訓練事業	<p>○一般就労に向けた前段階として働く訓練を必要とする方、一般就労には結びつかないが何らかの支援があれば働くことができる方を対象に、個別の就労支援プログラムに基づき就労訓練の機会を提供するとともに、生活面や健康面での支援を行う。</p> <p>○就労訓練（中間就労）の場の提供 福祉的就労には対象外であったり本人の思いと合わないなどの理由で結びつかず、一般就労にもなじむことができずにいる人を対象に就労訓練の場を提供する。</p>

事業実績	対象者がなく利用実績なし。	
	事業名	内 容
事業計画	子どもの生活・学習支援事業 (ほたる一む) (市委託事業)	○学習の機会が十分でなかったり、基本的な生活習慣が整いにくい世帯の子どもに対して学習・生活支援を行うため、支援プランを作成するとともに、支援の提供場所や支援団体等を調整する。 ○支援の受け皿として市内の各拠点を活用し、学習・生活支援を行う。
事業実績	○支援検討会議：6世帯 11 ケースについて検討 ○子どもの居場所・学習の場の提供 《生活困窮世帯》 実施回数（57回） 実利用者数：6人 延べ利用者数：151人 《ひとり親家庭等》 実施回数（3回） 実利用者数：1人 延べ利用者数：3人 ○学校訪問の実施 市内の全小中学校（小学校9校、中学校6校）を訪問し、事業周知とヒアリングを行った。学校訪問を通じてあがってきたケースについて支援検討会議を行った。	
	事業名	内 容
事業計画	要援護世帯等向け 歳末配分事業	○歳末たすけあい運動における個別配分 配分対象者：ひとり暮らし高齢者・身体障がい児者 知的障がい児者・精神障がい者 ひとり親世帯・低所得者世帯
事業実績	○配分件数：1,106件（昨年比44件増） ・ひとり暮らし高齢者：563件 ・身体障がい児者：148件 ・知的障がい者：114件 ・精神障がい者：66件 ・ひとり親世帯：150件 ・低所得者世帯：65件	
	事業名	内 容
事業計画	生活困窮者 物資提供事業 (フードバンク)	○制度やサービスを利用するまでの期間や、制度やサービスでは対応できないなどの理由で、生活に困窮している人を対象に、地域で不要になったものを集めるとともに、善意銀行の活用により必要な物資を確保し提供することで、地域での生活を支援する。
事業実績	○支援件数 実支援数：14世帯 延べ支援数：18世帯 ○物資寄附件数：6件 ○善意銀行からの物資調達：16,935円 ○歳末たすけあいからの物資調達：5,918円 ○小学校での朝食提供への支援：3回 ※延べ90食分 ○市内企業提供の非常食（アルファ化米、飲料水）の配布：市民260人に配布	

(8) 生活福祉資金貸付制度・一時援護資金貸付事業

目 標	低所得者や高齢者・障がいのある人等に対し、継続的な相談援助と資金の貸し付けやその他の制度の活用等を通じて、生活の維持・安定、経済的自立に向けた支援を行います。	
	事業名	内 容
事業計画	生活福祉資金貸付制度 (県社協委託・補助)	○民生委員等との連携による相談援助と資金貸付 (県社協からの受託) ・総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金の貸付 ○生活困窮者自立支援事業との連携
事業実績	<p>昨年度末から始まったコロナ特例貸付の相談・申請が急増した。コロナ特例貸付の受付延長や制度内容の変更も多く、それに関連した申請者(借受者)からの問合せや相談が増加した。転居される方も多く、そのための手続きも増加した。</p> <p>《通常貸付》</p> <p>■相談者件数：31件</p> <p>■申請件数：6件(福祉費2件、教育支援資金4件) ※相談中の教育支援資金3件は、令和3年4月に申請。</p> <p>《コロナ特例貸付》</p> <p>■相談件数：553件</p> <p>■申請件数：480件(緊急小口資金161件、総合支援資金163件、総合支援資金増額変更4件、総合支援資金延長91件、総合支援資金再貸付61件) ※貸付相談の他、借受人よりの相談にも対応(教育支援資金の途中辞退、償還金額の変更、償還猶予申請、死去に伴う連帯保証人からの償還等)</p>	
	事業名	内 容
事業計画	一時援護資金貸付事業	○民生委員等との連携による相談援助と資金貸付 ○生活困窮者自立支援事業との連携
事業実績	<p>コロナで影響を受けた方はコロナ特例貸付で対応しており、また特別定額給付金の支給があったため、例年より件数が減少した。</p> <p>■申請件数：28件</p>	

(9) その他の生活支援

目 標	既存の制度やサービスでは支えきれない生活ニーズに対し、新たなサービスを企画・実施し、支援を必要とする人の生きがいを高め、日常の生活を支援します。	
	事業名	内 容
事業計画	外出支援サービス事業 (市委託事業)	○公共の交通機関が利用できない人を対象に、リフト付き車両(福祉車両)を使用し、医療機関等への送迎を行う。

事業実績	○利用件数 ・高齢：47件（前年度191件） ・障がい：34件（前年度94件） ※8月末をもって事業を終了	
	事業名	内 容
事業計画	福祉車両貸出 （まいばら協働事業 提案制度）	○本会が所有するリフト付き車両を、生活支援活動団体や車いすを必要とする人の親族等に貸出し、医療機関等への送迎における自助・互助の促進を図る。
事業実績	○利用件数 ・福祉車両貸出モデル事業：70件 ・車両貸出事業：10件 ※自主事業 ※外食などの利用目的もあり、車いす利用者の社会参加を促進できた。	
	事業名	内 容
事業計画	緊急時預かり サービス	○緊急の事由により見守りや介護等ができない状態が生じた場合の預かりを実施し、暮らしの安心を確保する（24時間/365日対応） ・地域なじみの安心事業 ・緊急預かりサービス
事業実績	○利用件数 ・地域なじみの安心事業：1件 ※ゆめホール（宿泊）	
	事業名	内 容
事業計画	ふれあいよりそい サービス	○既存の制度やサービスで対応できない生活上のニーズに対し、制度外サービスを提供する（居宅内の生活支援、通院等外出時の支援、服薬確認や安否確認のための見守り訪問など）
事業実績	○利用件数 ・通院同行等：2人 延べ30回	
	事業名	内 容
事業計画	地域生活応援事業	○障がい者等の地域で自立した生活に向けた活動の場が求められている中で、支援ニーズを集約し、食事・買い物・洗濯・掃除・入浴・宿泊などの生活体験、訓練の場を提供する。
事業実績	○畑作業（8/29、9/26） 参加者数：延べ10人 ○すこやかウォーキング（11/1） 参加者数：6人 ※新型コロナウイルス感染症の拡大により当初の計画を変更し、感染予防対策を行いながら実施した。	

事業名		内 容
事業計画	福祉機器 貸出事業	○介護保険等の制度による対応が困難な場合に、福祉機器（車椅子）の貸出を行う。 ・利用者の心身機能の維持向上と生活支援、介護者の介護負担の軽減
事業実績	○福祉機器（車椅子）の貸出：16件 <ul style="list-style-type: none"> ・山東地域福祉活動センター（2件） ・伊吹地域福祉活動センター（8件） ・米原地域福祉活動センター（5件） ・近江地域福祉活動センター（1件） 	

2. 身近な地域で支え合います

(1) ご近助活動（自治会単位）の推進

目 標	<p>地域住民が地域の困りごとに気づき、支援を必要とする人への見守り活動や生活支援の取り組みを推進します。</p> <p>○自治会における推進組織やご近助活動におけるリーダーの役割を整理し提案します。</p> <p>○市民が主体的に見守り・支え合い活動を進める上での機運を高めるとともに、組織化や活動を支援します。</p>	
事業名		内 容
事業 計画	ご近助活動の支援	<p>○自治会長・民生委員・福祉委員等合同説明会の開催</p> <p>○ご近所活動スキルアップ講座の開催</p> <p>○福祉懇談会 ○見守りネットワーク会議</p> <p>○ふれあいいいきいきサロン ○子ども食堂</p> <p>○男性のためのいきいき料理教室の実施</p> <p>○防火訪問の実施 ○防災力向上のための取り組み</p> <p>○福祉マップの作成、更新支援</p> <p>○避難行動要支援者登録の働きかけ</p> <p>○備品・車両の貸し出し ○福祉車両貸し出し（モデル事業）</p> <p>○活動への相談支援と情報提供（活動資金確保の取組を含む。）</p> <p>○自治会ごとの担当職員の配置</p> <p>○補助金交付（子ども食堂・学習支援補助、居場所継続支援補助）</p>
事業 実績	<p>○合同説明会の開催</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ウェブ上において公開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVD版説明資料の作成、各自治会への配布（107自治会） ・見守り訪問活動のための情報資材提供（107自治会） <p>○ご近所活動スキルアップ講座の開催（7/18） 参加者数：59人</p> <p>○福祉懇談会の開催（48自治会） 開催回数：延べ52回 参加者数：614人</p> <p>○見守りネットワーク会議の開催（86自治会） 開催回数：延べ278回</p> <p>○福祉マップ作成・更新支援（4自治会） ※更新</p> <p>○地域お茶の間創造事業立ち上げ支援（2自治会）</p> <p>○補助金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会への補助：75件（補助額：2,310,000円） ・新規事業補助：3件（補助額：301,000円） ・居場所継続支援補助：2件（補助額：63,500円） <p>○居場所活動等への感染症対策支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不織布マスクの提供：48件 ・次亜塩素酸水の提供：74件 <p>○防火訪問の実施（3自治会） 訪問件数：10件</p> <p>○備品の貸出：152件</p> <p>※各種情報提供や提案、相談などの活動支援を行うことで、できる方法での活動実施、活動再開へとつなげることができた。</p>	

(2) 福祉活動団体支援

目 標	福祉活動団体が主体的に活動を進めることができるよう、情報交換や連携連絡の場を設けるとともに、様々な活動の場面で協働して地域福祉活動に取り組めるよう支援します。	
事 業 計 画	事業名 福祉活動団体支援	内 容 ○連絡会議の開催（情報交換、協働した取り組みの検討等） ○団体活動推進に係る研修会の開催 ○団体活動についての相談支援 ○団体活動計画の策定支援 ○補助金の交付による活動支援 ・新規事業補助 ・まいばらコラボチャレンジ事業 ・子ども食堂・学習支援補助 ・居場所継続支援補助 等 ○単位民児協事務局の運営と委員活動の支援 ・定例会の開催 ・委員研修の企画と実施 ・委員活動に対する支援（個別ケースへの対応、情報提供等） ・関係機関との連絡調整 ・単位民児協同士の意見交換等の企画提案
事 業 実 績	<p>○補助金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉活動団体等活動推進補助金 申請：7団体（補助額：800,000円） ・ボランティアグループ補助金 申請：19団体（補助額：291,200円） ・まいばらコラボチャレンジ事業 申請：2事業（補助額：389,000円） <p>○単位民児協事務局の運営と委員活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山東民児協 定例会議（12回）、企画運営部会（10回）、広報部会（4回） ・伊吹民児協 定例会議（12回）、企画運営委員会（12回）、会長・副会長会（12回） ジュニア民生委員児童委員活動募集動画作成支援、伊吹民協公式 Youtube チャンネルの開設支援、ジュニア民生委員児童委員募集支援（29人応募） ・米原民児協 定例会議（12回）、企画調整部会（12回）、広報部会（6回） ・近江民児協 定例会議（12回）、運営委員会（12回）、広報委員会（5回） <p>○米原市赤十字奉仕団の活動支援 自治会における赤十字奉仕団活動の説明資料作成支援など</p> <p>○米原市老人クラブ連合会の活動支援 市老ク連・米原市・米原市社協意見交換会の開催（3回） 参加者数：26人</p> <p>○防災食講座の開催（1回） 参加者数：20人 ※老人クラブ連合会、赤十字奉仕団</p>	

(3) 当事者団体活動支援

目 標	地域や行政等とのつなぎや地域活動への参画を支援し、当事者に対する理解を深めるとともに、新たな支え合い活動や福祉サービスの開発につなげます。	
	事業名	内 容
事業計画	活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ○連絡・懇談会の開催 (情報交換、ニーズ把握、福祉学習への参加、福祉避難所の運営) ○地域福祉活動への参画に係る福祉学習会の開催 ○団体活動についての相談支援 ○団体活動計画の策定支援 ○新規事業立ち上げの働きかけ (当事者による対外的な情報発信・周知啓発活動等) ○補助金の交付による活動支援 ・まいばらコラボチャレンジ事業 ・新規事業補助 等
事業実績	○当事者団体長懇談会の開催(7/16) 参加団体数：4団体	

(4) 地域福祉活動拠点の活用

目 標	周辺地域および関係機関との連携・協働の中で市民の福祉拠点となる施設を運営します。地域福祉活動の拠点として小地域福祉活動やボランティア活動の支援、相談支援を行うとともに、介護保険サービスや介護予防事業、障害福祉サービスを実施し、市民の福祉ニーズに応える施設運営を行います。	
	事業名	内 容
事業計画	活動拠点の管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉施設の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・あったかほーむかせの ・ほおずき作業所 ・寄ろ家うかの ・行こ家のとせ ・いをぎの家 ・いきいき健康館 ・旧山東生涯学習センター ・米原市指定管理施設(柏原福祉交流センター、北部デイサービスセンター、伊吹健康プラザ愛らんど、米原地域福祉センターゆめホール、西部デイサービスセンター、近江地域福祉センターやすらぎハウス)の運営 ○運営推進会議の開催 ○地域交流事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・やすらぎハウスきずなフェスティバル(年1回) ・ゆめホールふれあい事業(年1回) ・きらめき交流まつり(年1回) ・愛らんどいきいき健康クッキング(年1回) ・各デイサービスセンターでの地域交流事業

事業実績	○運営推進会議の開催（8施設） 延べ15回	
	○地域交流事業	
	・学習支援事業	
	やすらぎウィーク（8/4、8/5、8/7）	参加者数：延べ49人
	ゆめホール てんてんウィーク（8/7、8/8）	参加者数：延べ18人
	きらめき てんてんウィーク（8/5、8/6）	参加者数：延べ23人
	愛らんどウィーク（8/5、8/7）	参加者数：延べ35人
	・いをぎの家カフェ（10/31）	参加者数：3人
	・認定こども園との七夕交流（うかの）	
	・認定保育園への手作り雑巾の提供（かせの）	
	・自治会への地蔵前掛けの提供（きたで〜）	※ボランティアとの協働
	・遊びの広場の開催（うかの）	

（5）善意銀行

目 標	地域の市民や企業団体から寄せられる善意を、市内で地域福祉推進に取り組む自治会や関係団体の活動を支えるための資金や、市民の暮らしの困りごとを支える財源として有効活用します。	
	事業名	内 容
事業計画	善意銀行の運営	○善意銀行の募集啓発および情報提供 ○寄付者の意向に基づく効果的な活用 ・生活困窮者支援物資提供事業 ・備品・福祉機器貸出事業 ・市内福祉事業所等へ寄付物品の提供
事業実績	○預託 ・金銭預託：25件（預託額：900,324円） ・物品預託：150件（内、1万円以上の物品 ※現金換算：1,786,000円） ○払出 ・生活困窮者支援物資提供事業への払出：18,747円 ・市民、福祉事業所（41事業所）等への物品の配布（現金換算：1,786,000円）	

（6）赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

目 標	地域福祉の課題解決に取り組む、民間団体を支援する仕組みとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動「じぶんの町を良くするしくみ」を進めます。	
	事業名	内 容
事業計画	共同募金委員会の運営	○募金活動の強化と募金の配分 ・受配団体等と協働した募金活動の実施 ・社会貢献活動への参加の呼びかけと募金活動の啓発と強化 ・配分における透明性の確保と啓発の強化 ・様々な地域福祉活動への幅広い配分

事業実績	<p>○共同募金委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会（6/3、3/25） ・評議員会（6/24、3/26） <p>令和元年度事業・決算報告、令和3年度事業計画・予算</p> <p>○自治会、団体、企業、学校、事業所等への募金協力の依頼</p> <p>○募金および啓発活動の実施（市内各店舗前）</p> <p>○共同募金協力自販機の設置啓発（設置協力1件）</p> <p>○募金の実績と配分 募金総額：10,524,975円</p> <p>《赤い羽根共同募金》</p> <p>募金：6,659,338円</p> <p>配分：地域福祉推進事業：3,764,311円</p> <p>県内福祉施設整備・災害支援費用：2,495,027円</p> <p>次年度募金活動費：400,000円</p> <p>《歳末たすけあい募金》</p> <p>募金：3,865,637円</p> <p>配分：要援護世帯等向け歳末配分事業：3,318,000円（1,106件）</p> <p>当事者団体補助金：80,000円（8件）</p> <p>次年度事業へ繰越：467,637円</p>
------	--

(7) ファミリー・サポート・センター

目 標	子育てにおける相互援助活動を支援し、市民が安心して仕事と育児を両立できるまちをめざします。	
	事業名	内 容
事業 計 画	ファミリー・サ ポート・センター 事業 (市委託事業)	<p>○サポート会員と利用会員とによる相互援助活動（子どもの預かりおよび送迎等）の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業活動の広報、啓発 ・会員相互の援助活動の相談、調整、助言 ・会員の募集、登録および管理 ・サポート会員に対する研修の実施 ・安全対策の確保（マニュアル等の活用） ・子育て支援機関等との連絡調整 ・子育て支援団体等との協働による事業周知・登録促進・交流イベントの実施 <p>○ファミサポのサポーター養成講座にて、障がい児者支援サポーター講座の同時開催</p>
事業 実 績	<p>■登録者数：利用会員 77 人、サポート会員 77 人（うち新規 4 人） 両方会員 13 人</p> <p>■利用実績：135 件</p> <p>○サポーター養成講座・交流会の開催</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月までに予定していた講座等を延期 7月から感染防止策を講じ開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座 <ul style="list-style-type: none"> 「保育のこころ・心の発達とその問題」（7/28） 参加者数：14 人 「子どもの世話・安全と事故」（9/9） 参加者数：11 人 「子どもの栄養と食生活」（10/3） 参加者数：14 人 「小児看護の基礎知識」（12/3） 参加者数：13 人 「子どものあそび」「身体の発達と病気」（2/26） 参加者数：12 人 ・交流会 <ul style="list-style-type: none"> 「ファミサポ水遊び大会」（8/29） 参加者数：40 人 「稲刈り体験」（10/3） 参加者数：20 人 「お正月飾り作り」（12/3） 参加者数：16 人 <p>○地域共生社会フォーラム（11/29）にて、サポート会員の活動報告、センターの活動紹介、サポート会員の募集を行った。</p> <p>○広報誌の発行 広報誌を作成し、令和3年度のサポーター養成講座、救命救急講習、交流会の案内を掲載した。</p> <p>○LINE の活用 会員への連絡手段としてLINE を活用することになり、チラシの作成・配布を行った。</p>	

(8) 災害支援体制の構築

目 標	<p>災害時の支援活動について協議する場を設定し、それぞれが果たす役割の整理や情報の共有を行います。</p> <p>また、関係機関、福祉事業者等と協働し、地域防災計画に基づく個別避難支援計画の作成に向けた地域の取り組みを支援します。</p> <p>さらに、各事業所が、災害時の利用者の安否やサービス連携について確認し、被災状況に応じたサービスを速やかに提供できる体制を整備します。</p>	
	事業名	内 容
事業計画	災害時支援の連携構築	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉事業者との災害対策に関する協議 <ul style="list-style-type: none"> ・地域と事業者との連携および支援調整 ・利用者の安否確認やサービス連携 ・被災状況に応じたサービスの提供方法、サービス再開 ○サービス事業所ごとの災害時対応マニュアルの作成 ○地域における個別避難支援計画の作成支援
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○支援体制づくりの支援（16自治会） ○避難行動要支援者名簿整備の支援（13自治会） ○支援体制の見直し・更新の支援（21自治会） ○個別避難支援計画作成の支援（8自治会） 	

(9) 災害ボランティアセンターの設置運営

目 標	<p>被災者が抱える問題と活動ニーズとが的確に調整され、災害時に必要となる新たなボランティア活動の創設や地域との連携など、円滑な運営のための人材の養成と体制の整備を行います。</p>	
	事業名	内 容
事業計画	災害ボランティアセンターの設置運営	<ul style="list-style-type: none"> ○設置・運営訓練の実施とマニュアルの見直し・点検 <ul style="list-style-type: none"> ・市民、関係機関、事業所が参加する訓練の実施（課題の集約と検証） ○運営サポーターの募集 <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座、地域共生社会フォーラムにて実施 ○運営サポーターミーティングの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地域啓発、サポーター研修、訓練等 ○災害ボランティアバスの運行 <ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じ企画実施
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施（11/14） 参加者数：18人（内、災害ボランティアセンター運営サポーター6人） ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を行い実施 ○災害ボランティアセンター運営サポーターミーティングの開催（3/20） 参加者数：5人 	

Ⅲ. 助け合い、支え合う人を育む

1. 地域の担い手を育みます

(1) ボランティアセンター

目 標	支援を必要とする人や地域、サービス事業所などからの声をもとに、ボランティアによる支援ニーズを把握し、必要な事業の企画とボランティアの養成を行うなど、ボランティア活動の推進と活動に関する調整を行います。	
	事業名	内 容
事業 計画	情報提供 活動調整	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア活動者の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動者からの相談に対して情報提供や助言の実施 ○ボランティア活動に関する情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録カードの更新、登録一覧表の更新と配布 ・ホームページ、SNSを活用したタイムリーな情報発信 ○ボランティア活動のマッチング <ul style="list-style-type: none"> ・活動者と個人、施設間の調整 ・相談、調整に関する記録シートの様式の検討 ○市ボランティア連協の運営支援 ○レイカディア大学、ルッチ大学との連携体制づくり ○ボランティアコーディネーターと各地域担当ワーカー、窓口担当職員の連携体制づくり
事業 実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア登録状況 ※令和3年3月末現在 団体：57グループ（1,724人） 個人：42人 ○SNS（ブログ・フェイスブック）による情報発信：16件 ○社協広報「てとて」へのボランティア情報の掲載 ○相談件数：1,305件 <ul style="list-style-type: none"> ・芸能ボランティア活動マッチング件数：9件 ・現ボランティア活動者からの相談：13件 ・個人からの相談：21件 ・施設、団体からの相談：16件 ○市ボランティア連絡協議会の運営支援 ○愛の手ボランティアの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会の開催（2回） 参加者数：延べ10人 ・訪問活動調整（4回/16地域） 訪問者：延べ15人 対象者：延べ146人 ○新型コロナウイルス感染症対策 <ul style="list-style-type: none"> ・手作りボランティアグループへの布マスク制作依頼：608枚 ・障がい、児童福祉施設への布マスクの配布：13カ所 <p>※マスク制作・配布により、布マスクを管理しにくい障がいのある方や、準備できなかった子どもたちのマスク着用につなげ、感染拡大防止の取り組みを推進できた。</p>	

事業名		内 容
事業計画	傾聴ボランティア 養成講座・活動支援	<p>○養成講座の開催（傾聴ボランティア新規育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傾聴についての基礎知識の習得、ロールプレイ ・傾聴の対象者となる高齢者や障がい者に接する上で必要な知識の習得 ・施設等における体験学習の実施 ・現活動者向けフォローアップ講座の実施 <p>○傾聴ボランティア活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主的な活動に向けた助言、相談企画・専門職との連携
事業実績		<p>○傾聴ボランティア養成講座の開催：3回（9/3、9/10、9/17）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規受講者：8人 <p>○傾聴ボランティアグループの活動支援</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月から9月の訪問活動を中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会の開催（9回） ・傾聴ボランティア作成の塗り絵を個人利用者へ配布（5月） ・傾聴ボランティア作成も絵葉書を個人利用者へ配布（6月） ・絵手紙を作成し利用者へ配布（7月） ・感染症予防グッズの整備（マスク、フェイスガード、消毒液等） ・彦根市傾聴ボランティアとの交流会調整
事業名		内 容
事業計画	音訳事業 (市委託事業)	<p>○音訳ボランティア養成講座の開催（音訳活動見学ツアー・入門編）</p> <p>○音の広報発行事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市広報や議会だより、社協広報等の録音と発行 ・活動者への支援
事業実績		<p>○音訳ボランティア養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視察研修編の開催（9/24） 参加者数：6人 ・入門編の開催（10/6、10/13、10/20、10/27、11/10、11/17）全6回 参加者数：5人（内、5人終了） <p>○音の広報発行事業（市広報、議会だより、社協広報の録音と発行）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報まいばら（12回） ・広報まいばら臨時号（4回） ・議会だより（4回） ・社協広報てとて（4回） ・音訳CD利用者（2名） ・一般オーディオ用CD 利用者：1人 ・音訳CDの貸し出し（市内図書館） ・米原市、社協ホームページへの音声データの掲載 ・活動者支援 音訳ボランティア情報交換会の開催（8/3、3/9） 4グループ（延べ17人）参加

事業名		内 容
事業計画	認知症 サポーターの養成 (市委託事業)	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症サポーター養成講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・学校（児童、生徒）・企業への開催の働きかけ ○キャラバンメイトの活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・講座への支援 ・キャラバンメイトや専門職、認知症啓発に関心がある住民の実施する出張型認知症カフェへの支援
事業実績		<ul style="list-style-type: none"> ○キャラバンメイト報告会の実施（10回） ○認知症サポーター養成講座の開催（8回） 参加者数：153人参加 (内、学校3校、56人) ○養成講座受講者に対するアンケートの実施 ○認知症カフェ（オレンジカフェ）の開催（13回） 参加者数：延べ77人 ○米原市商工会所属企業へ養成講座受講案内等啓発チラシの配布 ○米原市SOSネットワーク事業協力機関（7機関）へのステッカー配布（伊吹山テレビ8月7日号にて取り組み紹介） ○情報発信ツールの整備（キャラバンメイトLINE公式アカウントの開設） ○寸劇による認知症啓発を実施（伊吹山テレビ9月25日号にて）
事業名		内 容
事業計画	子ども向け ボランティア講座	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども会・放課後児童クラブ単位等、小学生を中心に、自治会や福祉団体、福祉事業所・福祉分野以外を含めた様々な主体とのつながりを構築できるプログラムを作成し、モデル的に実施 ○次年度実施に向けた講座内容の見直し・周知方法の検討 ○中学生・高校生のボランティア活動の実施状況の聞き取り
事業実績		<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアきっかけ講座の開催（8/12） 参加者数：12人 ※講座内で取材した内容をまとめ、社協広報てとて（11月号）にて発行

2. 福祉人材を育みます

(1) 福祉介護人材の育成

目 標	地域の支え合いや生活支援サービスの担い手の育成をめざすとともに、質の高い介護人材が、市内の事業所に安定的に確保されるよう、社会福祉法人や介護事業所等と協働して、福祉・介護人材の育成に取り組みます。	
	事業名	内 容
事業計画	福祉現場での 実習受け入れ	○福祉専門職養成のための実習受け入れ ・実習の調整（市内各福祉現場）
事業実績	○社会福祉士実習：2人 ○介護支援専門員実務研修に係る実習：1人 ○保育実習：1人	
	事業名	内 容
事業計画	入門的研修 (市委託事業)	○地域の福祉力の向上と、介護人材の確保と専門性の向上を目的に、スゴワザ講座において研修を実施する。
事業実績	○研修の実施（9/26） 参加者数：16人 「今すぐ！将来！きっと役立つ 介護のい・ろ・は塾」 ※スゴワザ講座として開催	

IV. みんながつながるまちをつくる

1. つながる仕組みを強化します

(1) 地域ニーズ・社会資源の把握と分析

目 標	<p>ご近所活動やボランティア活動の支援、相談事業や福祉サービス等を実施する中で、地域の課題や暮らしの困りごと、地域の社会資源の把握を行います。</p> <p>また、地域の自治会長・民生委員児童委員・福祉委員、関係機関等からも、それぞれの活動を通して得た新しい情報が集約できる流れをつくります。その集約した情報は地域カルテ・社会資源台帳に更新され、整理することで、社会資源を見える化します。</p> <p>これらの情報を整理した地域カルテ・社会資源台帳を、自治会や関係機関等と共有・活用ができるしくみをつくります。</p>	
	事業名	内 容
事業 計画	地域カルテ・ 社会資源台帳の 作成と活用	<ul style="list-style-type: none"> ○住民参加の協議や情報交換の場、地域行事への参加、各種会議等における地域ニーズ、社会資源の把握 ○地域の自治会長、民生委員児童委員、福祉委員からの情報収集 ○関係機関、事業者等からの情報収集 ○個別課題や個別ニーズを地域課題・地域ニーズとして共通認識できるよう、みんなで考える場づくり ○情報の集約と地域カルテ・社会資源台帳への整理（CSW、相談支援包括化推進員、各事業所の連携・共同での作成） ○活用に向けて、合同説明会での自治会への説明、関係機関、事業者等への訪問による説明
事業 実績	<ul style="list-style-type: none"> ○各地域の自治会長、民生委員児童委員、福祉委員・福祉協力員・福祉推進員へ地域カルテを配布（4月） <ul style="list-style-type: none"> ・自治会長：107自治会、民生委員児童委員：126人 ・福祉委員・福祉協力員・福祉推進員：168人 ※自治会長等と取り組みや課題を確認し、それらを踏まえた懇談会テーマの設定に利用するとともに、活動者間での社会資源の共有などに活用することができた。 ○居宅介護支援事業所、市、社協内44か所へ、関係機関用地域カルテを配布（5月） ○関係機関用地域カルテについて、更新手続きのため預かり、活用状況や改善点等の聞き取りを実施（2～3月） <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取った39人の内、「使用した」16人（41%）、「使用しなかった」23人（59%）。使用場面は、支援策について考える時が最も多く、プラン立案時、事務所での対応や訪問時に活用いただいた。 ○地域や関係機関の情報をもとに地域カルテの更新（3月） 	

(2) 地域支え合いセンター・生活支援サービス基盤整備事業

<p>目 標</p>	<p>自治会の範囲を超えて地域課題を共有し、解決に取り組む組織づくりについての協議の場をつくります。また、地域やサービス事業者などが協働し、生活支援サービスの充実や認知症高齢者の見守り活動、地域から孤立をなくすための取り組みを推進します。</p>	
<p>事業 計 画</p>	<p>事業名</p> <p>地域支え合い センター事業 ・ 生活支援サービス 基盤整備事業 (市委託事業)</p>	<p>内 容</p> <p>○市全域の協議体（まるごと交流会等）の運営 ・地域や生活上の課題に対し、ボランティア活動者、市民、各種関係機関、事業者等が協議・検討する場の運営</p> <p>○2層協議体の運営（小学校区、4地域等单位） ・自治会単位では解決、対応が困難な生活上の課題や取り組みについて協議・把握する場の運営</p> <p>○支援ニーズの集約とサービス等に関する情報の発信</p> <p>○生活支援活動などに取り組む団体等の活動支援</p> <p>○買い物支援や移動支援など地域のニーズに合わせた広域の生活支援サービスの開発（SNSを活用した活動調整の仕組みづくりの構築など）</p>
<p>事業 実 績</p>	<p>○1層協議体の運営 ・まいばらまるごと交流会（7/11） 参加者数：26人 『コロナ禍における活動状況、今後のつながり方について』 ・まいばらまるごとオンライン交流会（3/18） 参加者数：29人</p> <p>○2層協議体の運営 〈エリア型〉 【山東】山東地域の福祉を考える会（7/6） 参加者数：16人 山東地域福祉協力員情報交換会（2/25） 参加者数：8人 【伊吹】これからの福祉活動を考える懇談会（8/22、8/29）参加者数：22人 【米原】米原地域サロンボランティアのつどい（10/24） 参加者数：31人 米原地域老人クラブ情報交換会（12/16） 参加者数：4人 【近江】子どもの視点から見る地域（8/18） 参加者数：24人 ※双葉中学校への事前アンケートの実施：108人 減災の取り組みについて考える（2/25） 参加者数：12人 ※各懇談会などにおいて情報提供・情報交換を行うことで、居場所などの再開へつながることができた。</p> <p>〈テーマ型〉 ○福祉活動団体の会員獲得及び活動活性化に関する懇談会（9/30）参加者数：21人 ○スゴワザ講座の開催 ・第1回 市民のための福祉車両運転講習会 参加者数：7人 ・第2回『今すぐ！将来！きっと役立つ 介護のい・ろ・は塾』 参加者数：16人 ・第3回 市民のための見守り訪問活動に役立つ研修会 参加者数：23人 ・第4回 楽しみながらマスター！zoom オンラインい・ろ・は塾 参加者数：19人 ○地域カルテの配布 合同説明会（ウェブ開催）における福祉関係者への配布</p>	

	<p>○ウェブサイトの運用 SNS等での情報発信：15件</p> <p>○団体等への活動支援（相談、活動調整） 延べ858件</p> <p>○生活支援サービスの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動販売 ※登録事業者数：14事業者 <ul style="list-style-type: none"> 受け入れ地域：27ヶ所 移動販売受け入れ施設：2施設 移動販売開催回数：延べ800回 周知用資材作成補助：1地域 ※移動販売のマッチングを行うことで、屋外での交流の機会づくりを支援した。 ・車両貸し出し：10件
--	--

(3) 福祉サービス事業者支援と協働

目 標	市内の福祉・介護サービス事業者に対し、人材育成や研修、情報提供等の支援を行い、地域活動と事業者をつなげるコーディネートを行います。	
	事業名	内 容
事業計画	福祉事業者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○合同研修会の開催 ○社協広報誌を活用した情報提供、PR活動 ○専門職による地域での出前講座開催の働きかけ ○福祉人材の育成・確保についての協働
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○研修会の開催 ※市内社会福祉法人対象 <ul style="list-style-type: none"> ・Web会議ソフト（Zoom）研修会（8/7）参加者数：16人（6法人） ○研修・講座等への講師の派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・外国人向け介護職員初任者研修（長浜市社協）：3人 ・介護職員初任者研修（ひだまり）：6人 	

(4) 社会福祉法人のネットワークの構築・地域貢献推進

目 標	社会福祉法人が創意工夫し、多様な「地域における公益的な取り組み」が展開されるよう、地域の課題の共有や取り組みの協働化、地域と法人をつなぐ支援を行います。	
	事業名	内 容
事業計画	社会福祉法人連携による課題解決に向けた協働事業	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時対応等、各法人において共通する取り組み課題となりやすいテーマを設定し、法人間の協力体制構築や、利用者の避難支援・安否確認を目的とした市民との協力体制構築に向けた協議の場を設ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人による意見交換会の開催 ・各法人（事業所）と市民による災害時避難支援体制構築に関する協議の場のコーディネート ・補助金の交付による活動支援 まいばらコラボチャレンジ事業

事業実績	<p>○評議員等との意見交換会の開催（12/9） 参加者数：26人 ※市内社会福祉法人、社協評議員・理事・監事 《意見交換のテーマ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労に向けた取り組みにおいて、どのような仕事内容、機会、働く場所があるか ・地域で暮らし続けるために 解決、対応が必要な困りごとや将来へ不安を感じる困りごとは何か ・自治会単位でのまちづくり活動の困りごと ・災害時安否確認、避難支援のための地域住民と福祉事業所の連携推進について ・歳末たすけあい募金の配分方法 ・障がいや認知症の理解を進めるための方法、アイデア
------	---

V. 推進体制の充実・強化

(1) 評議員会・理事会の運営

目 標	地域の実情や福祉に関する社会情勢を把握し、事業運営の進捗管理を行うとともに、法人運営の安定と発展に向けた方策、地域のニーズに応える事業展開について協議・検討します。
事業 計画	<ul style="list-style-type: none"> ○評議員会の開催（年3回） ○理事会の開催（年6回） ○理事委員会の開催（随時） ○評議員・役員研修の実施（随時）
事業 実績	<ul style="list-style-type: none"> ○評議員会の開催（5回） <ul style="list-style-type: none"> ・新任評議員研修（6/24） ・第1回（6/24）令和元年度事業・決算報告 ・第2回（7/31）令和2年度第1回補正予算 ・第3回（9/30）定款の変更、令和2年度第2回補正予算について ・第4回（1/28）令和2年度第3回補正予算、役員の選任 ・第5回（3/26）令和2年度第4回補正予算、定款の一部改正、令和3年度事業計画・予算 ○理事会の開催（8回） <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（6/5） 令和元年度事業・決算報告、評議員候補者の選任、評議員選任・解任委員候補者の選任 ・第2回（7/17） ヘルパーステーション山東伊吹運営規程の廃止、ヘルパーステーション山東伊吹介護予防・日常生活支援総合事業指定第1号訪問事業（総合事業訪問介護）運営規程の廃止、支援センター山東伊吹運営規程の廃止、ヘルパーステーション米原近江運営規程の改正、ヘルパーステーション米原近江介護予防・日常生活支援総合事業指定第1号訪問事業（総合事業訪問介護）運営規程の改正、支援センター米原近江運営規程の改正、経営安定化積立金に関する規程の改正、令和2年度第1回補正予算、評議員候補者の選任、令和2年度第2回評議員会の招集 ・第3回（8/28） 公共施設（デイサービスセンター）貸付先選定に係る申請 ・第4回（9/24） 定款の変更、経理規程の変更、役員旅費規程の変更、私有車通勤等管理規程の変更、令和2年度第2回補正予算、令和2年度第3回評議員会の招集 ・第5回（11/6） 令和2年度表彰・感謝対象者の決定、慶弔規程の変更 ・第6回（12/11） デイサービスセンターゆめホール運営規程の変更、デイサービスセンターゆめホール介護予防・日常生活支援総合事業指定第1号通所事業（総合事業通所介護）運営規程の改正、令和2年度第4回評議員会の招集

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> • 第7回（1/26） 令和2年度第3回補正予算、社会福祉法人米原市社会福祉協議会役員候補者の選出、西部デイサービスセンターきらめき運営規程の廃止、西部デイサービスセンターきらめき介護予防・日常生活支援総合事業指定第1号通所事業（総合事業通所介護）運営規程の廃止、西部デイサービスセンターきらめき介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業総合事業通所型サービス運営規程の廃止 • 第8回（3/25） 令和2年度第4回補正予算、定款の一部改正、事務局規程の一部改正、正規職員給与規程の一部改正、職場におけるハラスメントの防止に関する規程の制定、正規職員就業規則の一部改正、准正規職員就業規則の一部改正、パートタイマー職員就業規則の一部改正、表彰規程の一部改正、指定特定相談支援事業所運営規程の一部改正、令和3年度事業計画・予算、令和3年度第1回評議員会の招集、役員等賠償責任保険契約の加入 <p>○理事委員会の開催（4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 第1回（7/17） 地域福祉活動補助金の審査、公共施設（デイサービスセンター）貸付先選定に係る申請 • 第2回（8/3） 地域福祉活動補助金の審査（継続審査分）、公共施設（デイサービスセンター）貸付先選定に係る申請、令和2年度第1四半期の収支状況 • 第3回（1/26） 地域福祉活動補助金の審査 • 第4回（3/25） 地域福祉活動補助金の審査
------	---

（2）情報公開と監査機能の充実

目 標	<p>法人情報等を広く市民に公開し、社会福祉協議会の透明性と公共性を確保します。また、事業や予算執行の監査、執行機能の評価を行うとともに、内部チェックを実施し、事業の公正性を保ちます。また、事業利用者の利害関係についての適正化に対する監査を実施します。</p>
事業計画	<p>○法人情報・財務諸表の公開（事務所掲出、ホームページへの掲載等）</p> <p>○内部チェックの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> • 監事による事業および会計監査（年2回） • 法人後見事業に関する運営監視 <p>○会計、労務等に関する専門機関によるチェックと指導（通年）</p> <p>○福祉サービスに関する苦情解決事業</p> <ul style="list-style-type: none"> • 苦情相談委員会（第三者委員会）による対応結果の確認（年2回）
事業実績	<p>○法人情報・財務情報・定款他規程集の公開（事務所掲出、ホームページへの掲載）</p> <p>○監事による監査の実施（5/25、11/20）</p> <p>○内部チェックの実施 権利擁護事業利用者の預り物チェック（6/17）</p> <p>○会計に対する外部チェックの実施 税理士による会計指導（随時）</p> <p>○福祉サービス解決事業の実施 苦情相談委員会の開催（6/19、12/18）</p> <p>○法人監査の実施（2/22）</p>

(3) 会員・会費制度の普及促進

目 標	地域福祉の推進を図るため、市民や事業所、企業等に対し、会費協力を求めるほか、社会福祉協議会の運営への参加を進めます。
事業 計画	○啓発資料（パンフレット等）を活用した普及啓発活動
事業 実績	○啓発活動の実施 自治会を通じて各世帯へのチラシ配布、社協広報誌への掲載など ○市内企業・事業所、福祉事業所への訪問（7月）

(4) 財政の健全化

目 標	補助金・委託金・会費・共同募金・寄付金等の充実を図り、財源の確保に努めます。さらに、経営改善、経費削減に取り組むほか、介護・福祉事業を実施することで生じた収益を、新たな地域福祉事業開発のための資金として活用していきます。															
事業 計画	○善意銀行の有効活用 ○行政担当部署との連携（地域福祉推進に向けた事業・予算要望） ○介護保険事業・障がい福祉サービス収入の1%を目標とした地域貢献的活動への資金活用 ○経営安定化積立金（事業運営積立・施設整備費積立・車輛購入積立・事業開発積立）															
事業 実績	○行政担当部署との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・米原市健康福祉部との意見交換会の開催（5/21） 新型コロナウイルス感染防止対策および今後の取り組みについて 地域共生社会の実現に向けた取り組みと課題について ・米原市議会健康福祉常任委員会との懇談会の開催（7/7） 米原市社会福祉協議会の取り組み 新型コロナウイルスに係る地域課題やその対応と今後 地域共生社会の実現に向けて ・令和3年度予算要望書の提出（7/17） ○介護サービス等の収益を財源とした地域還元積立金の創設 ※経営安定化積立金への積立 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事業運営積立金</td> <td style="padding-left: 20px;">積立額：2,305,800円</td> <td style="padding-left: 20px;">残高：68,353,400円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">施設整備費積立金</td> <td style="padding-left: 20px;">積立額：704,000円</td> <td style="padding-left: 20px;">残高：42,884,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">車輛購入積立金</td> <td style="padding-left: 20px;">積立額：32,951,200円</td> <td style="padding-left: 20px;">残高：29,126,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事業開発積立金</td> <td style="padding-left: 20px;">積立額：—</td> <td style="padding-left: 20px;">残高：20,000,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">地域還元積立金</td> <td style="padding-left: 20px;">積立額：5,357,000円</td> <td style="padding-left: 20px;">残高：5,357,000円</td> </tr> </table>	事業運営積立金	積立額：2,305,800円	残高：68,353,400円	施設整備費積立金	積立額：704,000円	残高：42,884,000円	車輛購入積立金	積立額：32,951,200円	残高：29,126,000円	事業開発積立金	積立額：—	残高：20,000,000円	地域還元積立金	積立額：5,357,000円	残高：5,357,000円
事業運営積立金	積立額：2,305,800円	残高：68,353,400円														
施設整備費積立金	積立額：704,000円	残高：42,884,000円														
車輛購入積立金	積立額：32,951,200円	残高：29,126,000円														
事業開発積立金	積立額：—	残高：20,000,000円														
地域還元積立金	積立額：5,357,000円	残高：5,357,000円														

(5) 人材育成と活用

目 標	職員に求められる姿を明確に示し、業務目標管理を行うとともに、職員の日々の行動や能力の適切な把握と評価により、職員の意欲の向上と能力開発を図り、一人ひとりの働きがいと専門性を高めるとともに、働きやすい環境づくりを進めます。
事業 計画	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリアパス・研修制度の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・階層別研修カリキュラムに基づく研修計画の作成と実施 ・新任職員の育成と支援 ・職場内QC活動 ○人事考課制度の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・業務目標管理 ・職員面接 ・考課者研修 ○処遇制度の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・職働き方改革に基づく、処遇制度の見直しと働きやすい環境づくり
事業 実績	<ul style="list-style-type: none"> ○人事考課制度の導入と運用、業務目標管理の実施 ○各研修課程による職員研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・研修受講者（各部署）による復命研修 ・新任職員研修の実施（7回） 対象者：25人 ・定期研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> 職員全体研修（4/3、4/6、4/7） 人権研修（11月） ※教材によるビデオ研修（各課で実施） 普通救命講習（11/4、11/16、11/24） ※他事業所からの参加24人 ○職場内研究活動の実施 ※報告会（2/19） 9グループ ○滋賀県社会福祉学会への参加（2/22） ※「はびろ」が奨励賞を受賞 ○職員の安全衛生 <ul style="list-style-type: none"> ・衛生委員会の開催（6回） ・健康診断の実施 ・ストレスチェックの実施 ・安全運転講習の実施（9/6、9/13） ・運転適性検査の実施 ○働きやすい職場環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・同一労働同一賃金等に向けた対応 各種規程（就業規則、給与規程等）の改正、ハラスメント防止規程の整備等

(6) 事業運営体制の強化

目 標	安定的で効率的な事業運営をめざし、事業運営体制の見直しと、業務の効率化を進めます。
事業 計画	<ul style="list-style-type: none"> ○訪問介護事業所の統合や、各事業拠点の見直しによる運営体制の強化 ○介護をはじめとする事業へのICTの導入による業務の効率化と職員の負担軽減 ○法人内連携の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・部門（部署）を横断的に編成するプロジェクト会議における、新規事業や社会資源開発などの検討を通じて、法人内の情報や課題認識等の共有を図り、総合力をいかした実践に結び付ける ・地域共生社会の実現に向けた包括的支援の視点や実践力を高めるための、部署を横断した事例検討等を実施

事業実績	<p>○訪問介護事業所の統合に合わせ、運営体制の見直しと職員間の情報連携ソフトの導入を行った。</p> <p>○各事業における事業継続計画（BCP）の見直しと更新を行い、実際の運用に向けて研修会を実施した。</p> <p>○事業推進プロジェクトの推進 法人内の各部署を横断するプロジェクトチームによる取組の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住支援生活支援プロジェクト（10回） ・福祉カフェプロジェクト（2回） ・災害時地域事業所連携プロジェクト（7回） <p>○主任・管理者会議（11/10、11/25）、各部署における検討（ワーク）を実施し、事業活動の充実と強化に向けて取りまとめ、令和3年度事業計画に反映した。</p>
------	--

その他の活動

1. 関係機関等との連携・提言活動

- ・米原市健康福祉部、子ども未来部との意見交換会（5/21）
- ・米原市議会健康福祉常任委員会との意見交換会（7/7）

2. 表彰・感謝

米原市社会福祉協議会の理事会において、社会福祉の発展向上に貢献された方や団体を表彰し、感謝の意を伝えた（12/11）

- ・表彰：社会福祉活動が特に優秀な個人・団体等（1 団体、4 自治会）
- ・感謝：善意銀行への高額寄付や特別会費による貢献顕著な協力者（4 企業）

3. 日本赤十字社事務局・赤十字奉仕団支援

日本赤十字社滋賀県支部米原市地区事務局として、事務執行と災害等における救援物資の手配や赤十字奉仕団の活動の側面的な支援を行った。

- ・活動資金の募集：合計 5,567,600 円（法人活動資金：25 件 254,000 円含む。）
- ・赤十字奉仕団地区委員会の開催（14 回）
- ・米原市地区赤十字奉仕団員一日研修会の実施（10/28） 参加者数：53 人

4. 義援金の募集

共同募金会・日本赤十字社が実施する国内外で発生した災害被災者を支援する義援金を募集した。

《令和 2 年度受付額》

- ・東日本大地震災害義援金：50,000 円
- ・令和元年台風 19 号災害義援金：7,963 円
- ・令和 2 年 7 月豪雨災害起炎菌：16,458 円
- ・令和 3 年 2 月福島県沖地震災害義援金：680 円

5. 関係機関等への参画

- 米原市介護保険運営協議会委員
- 米原市いじめ問題対策連絡協議会委員
- 米原市都市計画審議会委員
- 米原市国民健康保険運営協議会委員
- 米原市障がい者計画等審議会委員
- 米原市防災会議委員
- 社会を明るくする運動米原市地区実施委員会委員
- 米原市民生委員児童委員推薦会委員
- 米原市子ども・子育て審議会委員
- 米原市健康づくり・食育推進協議会委員
- 米原市男女共同参画審議会委員
- 米原市地域包括支援センター運営協議会委員
- 米原市空家等対策協議会委員
- 米原安全運転管理者協会理事
- 米原市人権総合センター運営協議会委員

- 米原市人権尊重のまちづくり審議会委員
- 米原市地域公共交通会議委員
- 米原市行財政改革市民会議委員
- 米原市主任介護支援専門員連絡会委員
- 湖北介護支援専門員連絡協議会理事
- 米原市ケアプラン会議委員
- 米原市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議委員
- 米原市青少年育成市民会議評議員（山東・伊吹・米原・近江支部）
- 長浜米原しょうがい者自立支援協議会事務局会議委員
- 長浜・米原地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会委員
- 長浜自立支援協議会運営委員、権利擁護委員
- 湖北会苦情解決の第三者委員
- ひだまり評議員選任・解任委員会委員
- ひだまり第三者委員
- ひだまり運営推進委員（わが家ひだまり）
- いきいきおうみみんなの家運営推進会議委員
- 近江薫風会評議員選任・解任委員会委員
- ひかり福祉会評議員選任・解任委員会委員
- あっぷで〜と評議員
- 米原市手話施策推進会議委員
- 第7期米原市自治基本条例推進委員会委員
- 湖北地域介護サービス事業者協議会事務局長
- スペシャルおりんびっくす日本・滋賀・湖北支部実行委員会委員
- 米原市介護認定審査会委員
- 双葉中学校学校運営協議会委員
- 米原市いのちを支える自殺防止対策連絡会委員
- 滋賀県市町社会福祉協議会会長会職員部会担当者（湖北ブロック）
- 岩脇自治会社会福祉会運営委員
- グループホーム悠楽運営推進会議委員
- こされん会長
- 米原市水道運営審議会委員
- 米原市下水道運営審議会委員